小倉文庫
イ 16
59

これは頭書増補を加へた塵劫記の最初の版である。

昭和十四年九月

小倉金之助

貞享三年版

増補新編塵劫記

門ナ16
慶 69
慶

門 イ16
號 59
巻

これは頭書増補を加へた塵劫記の最初の版

蘇峰文庫

昭和二十七年六月二十一日 受入

新板塵劫記 中書序

吉田光由編

そもそも我が八代義隷尊公命じたまふ。周官の傳文を邑宰たちの業数世の事。国家乃童蒙たちの教。故に乱筆拙文を顧みず。版を長あり。其摸屢とうつして。耕を知さしむ。

井田乃法。十一の法。時に百姓あり。又軍を用ひ。ぶ。ぶ。率を海。

昭和文庫

いくらばかりて家にかへる。海潮のゆくさ引しほ
庭をしめ。いろんの天理をもとめ日月の行乃春秋乃
運氣。そもそも亜醫百二のあんじひ諸義教ひろめく
高明をもとめ。四気乃作道をもとめ。
して。ゆくをもり理をさとりはるかんぞや。孤どもも
その其物を紀をしるし。事をさとりて事ハ人ゝ
はぐゝ。故ゆゑ。その綱領をもとめて。種〻けうへ
むしろの便とせんとおもひ。下思乃まあるゝ
じ。あるひハ不足。或ハ全てあんをなんぞく明あん
人。遠願をんあぐさハ海ゝとたまけしやあんん

四方補頭書序

仏塵劫記ハ仏教の花園ハ我乃後人吉田氏光由とやらん乃作書とやさまこ仏教光由ハ
等義暦道ハ不拘書読めと教ゆるうちとゆんぞと作ゆるに
てゞく神ゝをんちびゝうて。をゝさに行ゝふ乃ゞ仏とゆせを
拙乃ゝ代義術の教風ゝ。せふ暦をとゆる方ゝも。ゆく人乃
をとづき作乃人のゝとゝもさあるとゝもの
乃元祖とも云ゝべし。神学暦術ゝ光由ハ儒教中興義術
ゆく年とるとゝ道ゝ心ゝ。老年ゝ。ゝ教ゆゝて
ゆゝを作ゝ作乃人作りゝ。仏ゝ。
ゆく。ゝ役ゝ作ゝゆんとあゝ。ゝて。一向義術乃れゆゝ
あく神ゝ或ハ方乃暦説ゝ作ゝ
いゝゆゝとバ人ゝ儒ゝ。布ゝ塵劫記乃作ゝ弥勝
うんゝ。逆乃ゝに作ゝ方ゝ補ゝ書ゝ
書説ゝ作ゝと。ゝ作ゝ。ゝ作ゝ
ゝ乃ゝ作ゝ。ゝ作ゝ

塵補新編塵劫記一目録

第一　大数乃起の事
第二　小数乃起の事
第三　粒乃数の名の事
第四　因乃数の名の事
第五　極数の名の事
第六　九くの数の事
第七　八義乃別の声付居色
第八　ざん乃事
第九　見一乃別の声付居色
　　ざん乃事
　　かけて出る義の事

第十　米うるひの事
第十一　あるいはの事
第十二　あるいはざんの事
第十三　義ふ信入れの事
第十四　絹うるひの事
第十五　絹あるいの事
第十六　金あるいの事
第十七　小判あるいの事
第十八　米利ふく事
第十九　絹本綿賣買ふく事

▲大数の事
三重顔稱文字
注ニ千億也とあり
今小字ふあて考ふ
考部ふ万億億
面也
又風俗通ニ云ク
千生万々生億々
生京々生稱々生
壊々生壊々生澗
々生正々生載々八
地モ所不能載也
トヲ云ハ説ヨリ見
ル八稱ト壊ト溝ト
浸ヲ海ト
いの数名て壊ヨリ
澗ハ悪紙ヶ
▲小数ヶ
あハ小ヤ億文義
数也ハ分ハ一ヶ
下のヶりつ
次ふ考下て
▲粒乃数ヶ事

第一　大数之名乃事

一	十	百	千	万	億	兆	京	垓	秭
					十億 千億	十兆 千兆	十京 千京	十垓 千垓	十秭 千秭
壤	溝	澗	正	載	阿僧祇	那由他	不可思議	無量	大数
	十壤 千壤	十溝 千溝	十正 千正	十載 千載	十阿僧祇 千阿僧祇	十那由他 千那由他	十不可思議 千不可思議	十無量 千無量	十大数 千大数
極	恒河沙	阿僧祇	那由他	不可思議					
十極 千極	十恒河沙 千恒河沙	十阿僧祇 千阿僧祇	十那由他 千那由他	十不可思議 千不可思議					

第二　小数之名乃事

分	厘	毫	絲	忽	微	纖	沙	塵	埃
文	分	厘	毫	絲	忽	微	纖	沙	塵

第三　粒乃数の名ヶ事

○斛の一字を古ハ石と云ふ
今ハ斗十斗或ハ斗十斗と云説
○八金と六斗米と云ふ二合半を斛と
云ふ也○度を一石六斗○東を十斗
斛と注せり
▲田数之事
異國四方八方又ハ一歩
一歩として横一尺
直二百尺を一畝と云
也○六十歩を一角と
云一畝八角角を
百畝と云ふ又方六尺を為歩
説も有也但日本
ハ町八百八十尺ハ
方今八六十尺ハ

斛 石	斗	升	合	勺	抄	撮	圭	粟

第四 田数之名乃事

一町	但六拾尺ハ方也一尺と云ハ六尺五寸	一反	むね一ハ三百六十坪今ハ三百坪と云	一畝	三十歩を云ふ也 ハ歩と云ハ三十坪	一歩	一坪と云ふ也 六尺五寸ハ方也	一重	もさ六尺五分 廣さ六寸五分	一分	もさ六尺五寸 廣さ六寸五分	一毫	もさ六寸五分 廣さ六分六厘	一線	もさ六分六厘 廣さ六厘六毛	一忽	もさ六厘六毛 廣さ六厘六毛	一微	もさ六毛 廣さ六毛

▲基数之事
一より十まてを基
数と云ふ原数なり
○一ハ小方水陽数也
○二ハ南方火陰数也
○三ハ東方木陽奇也
○四ハ西方金陰偶也
○五ハ中央土陽奇也
○六ハ水一に五五ヲ加也
○七ハ火二に五五ヲ加也
○八ハ木三に五五ヲ加也
○九ハ金四に五五ヲ加也
○十ハ土五に五ヲ加也
△文字ハ信数也
丁の下と陳て一也ハ
不勾と記ス 示下
と陳て二也ハ不小
と記ス 王の立点と
陳て三也ハ不直と
記ス 罪の下と陳て
四也ハ不非と記ス
吾の下と陳て五也
ハ不口と記ス

一	壹 丁	不勾	六	陸 交	不又	六	一疋 絹 二端	一仟 二百五百 百文	金 一寸四方 高サ百文
二	貳 示	不小	七	漆 皂	不白	七	一粒	一丈 十尺	銀
三	叅 王	不直	八	捌 分	不力	八	一盃	一尺 一寸 十分	同
四	肆 罪	不非	九	玖 九	不点	九	一駄 馬	一本 木一丁	百文
五	伍 吾	不口	十	拾 針	不金	十	一艘 舟	一束 一把	

第五 法相重乃事

七法雲記

交の下を除て六也
九也に不足記す皇
のよを除て七也九に
不足と記す分の下
を除て八也九に不足
と記　九の点を除
九也九に不足と記す
針の商と除て
十也九に不金記
▲法程をくるの
程をくるの法也
しかるに法也と云
よりはそれ法也で
時くるの吐康也
▲九くるの
貨一金毋の人の
金交也さまで
児童乃口わそび
ゆをくるる屋
くてめのまれ
法をくるよ用て
なやり打をくて
地筆乃心を人の

鉱	同	九指文	錫	同	六指三文
玉	同	百指同	銅	同	七指文
鉄	同	六指同	真鍮	同	六指九文
石	同	三指同	土	長尺巾方 同	指壱寸同

第六　九くるの数の事

二三ノ巾	二三ノ六	二巾ノ八	二五ノ十	二六ノ十二	二七ノ十巾		
二八 十六	二九 十八	三三ノ九	三四 十二	三五 十五	三六 十八		
三七 廿一	三八 廿四	三九 廿七	四巾 十六	四又 廿	四六 廿四		
四七 廿八	四八 廿二	四九 廿六	五又 廿八	五六 卅	五七 廿八		
五八 四十	五九 四十五	六六 廿六	六七 四十二	六八 四十八	六九 五十四		

七七四十九　七八五十六　七九六十三　八八六十四　八九七十二　九九八十一

第七　八くるの乃くらり之れ事

○二のくらり	二一 天他又	逢二進一十	○三乃くらり	三一 三十一	三二 六十二	逢三進一十	○四乃くらり
四一 二十二	四二 天他又	四三 七十二	逢四進一十	○五乃くらり	五一 信他二	五二 信他四	五三 信他六
逢五進一十	○六乃くらり	六一 加下四	六二 三十二	六三 天他又	六四 六十四	六五 八十二	逢六進一十
○七乃くらり	七一 加下三	七二 加下六	七三 四十二	七四 七十又	七五 七十一	七六 八十四	七七 八十九
逢七進一十	○八のくらり	八一 加下二	八二 加下四	八三 加下六	八四 天他又	八五 六十二	八六 七十四
八七 八十六	逢八進一十	○九のくらり	九一 加下一				

元を一十とする九
四ところを天位と号
○二二九一といふハ
十の物を二人
ふるとれをとる三
元よりあらうて
ここの九引物
をもつてきたるよと
をこつのふりたこ
をもつのこそ
元をふに
ばらうろ物
ろうこ二六
十二六ゑ心
乃をなへも
○四一九二を
十の物を
四人よつ元
以二つ元ふ
あらうて
二四の八引ハ物り
二つをこれこと三九

二 別圖

六	一	七	二	八	三	九	四	五
万	千	百	十	石	斗	升	合	夕

逢 二進一十

二一 天位又

九二 加下二 四六八七石四九 加下二 逢九進一十

あるひハ米
指武万三千四百の稜六石七斗八升九合を
二四ところ天位又 位二十ゆるゝ二百よりゝゝ元四ものあ
六万千七百九八石三斗九升四合の夕四

かけさん

八進四十○二一天位又
八進四十
六進三十○二一天位又
二進十○二進一十○二進一十
二進十○二進一十○二一天位又
二進十○二進十
二進十○二一天位又
二進十
二進十
二一天位又

夕	合	升	斗	石	十	百	千	万
二五十	二四八	二九十八	二三六	二八十六	二三四	二七十四	一二二	二六十二

ゝをゝ下ニ二つ物と
ゝ也四三七十二六
三十ゝ四つふるれ
以七つ元ゝて四七
九八引物り二つを
元よ三七十下に
二つをくしとぐ也
○五一倍位二六七
ゝりのをゝ人よ
ゝ也八二五の十
ふて二つ元に
あらうに
ゝとぐよ位て
をを倍ゝ多
ゝらうゝ二をゝ
ゝをゝ元をを
四多物也
○六一加下四八
十を六人よ
に元ゝ元ふ
ふあらうて
六つ引ハ物ゝ
ゝ元ゝ下ニ加ル

三 別圖

四	一	一	五	二	二	六	三
万	千	百	十	石	斗	升	合	夕

逢 三進一十

三一 三十一
三二 六十二

九進三十
九進三十
六進二十○三一三十一
三進一十○三進一十
三進一十○三進一十
三進一十○三一四一元八四ゝをゝ三引上へ
三進一十
三進一十元八十ゝ上ゝ物ゝ元四一ゝ
三一四一元八十ゝ上ゝ物ゝ元四一ゝ

あるひハ米
十二万三千四百五十六石七斗八升九合を
元ゝ引ふるれハ
四万千百五拾二石二斗六升三合迄

夕	合	升	斗	石	十	百	千	万

夕	合	升	斗	石	十	百	千	万
三三九	二六十八	二三六	二三六	三五十五	一三三	一三三	三四十二

けさん

七一加下三又八一加下二七四又四
六二正二八寸也
と六人よりて三人
以六つ充ニ而
三六の十八引て
五三八残り二つ
あつて也六四六十六
四八四十の抱を六
人よりられぬ
以六つ充ニ而
六六の三十六
引八残り四
あつて六又
八十二八寸と
六つふられぬ
以八つ充ニ而
て六八の四十八
引残り二つ
あつゆへあり
〇七二加下六八九七
七つふ別八二七十四

四別圖

三	八	六	四	一	九	七	二	五
万	千	百	十	石	斗	升	合	勺

四一七二四二天進
四三七十三

逢四進一十

四二天進又
四進一十〇四進一十〇四一二十二
四進一十〇四進一十〇四二天進又
四進一十〇四二七十二
四進一十〇四進一十
四進一十〇四一二十二
四進一十〇四二天進又
四三七十二
四進一十
四一二十二

あるひは来
指二万三千四百四拾六石七斗八升九合と
四ツ別ふられハ
三万八百六拾四石七斗九升七合多

戈	勺	合	升	十	百	千	万

四又二十
二四八
四七 戈八
四九 戈六
一四 四
四四十六
四六 戈四
四八 戈二
三四十二

五別圖

二	四	六	九	一	三	五	七	八
万	千	百	十	石	斗	升	合	勺

五一倍又二五二倍又四
五三倍又六五四倍又八

逢五進一十

五進一十〇五四倍倍八
五進一十〇五三倍倍六
五進一十〇五二倍倍四
五進一十〇五一倍倍二
五進一十
又四倍倍八
又三倍倍六
又二倍倍四
又一倍倍二

あるひは来
指二万三千四百四拾六石七斗八升九合と
四ツ別ふられハ
武万四千六百九拾三石二斗四升七合多

勺	合	升	十	百	千	万

又八四十
又七戈又
又九戈又
三又十又
一又 又
又九四十又
又六二十
四又二十
二又十

六ノ位ヨリ下ハ八ツヨリ八ツヨリ八ツヨリ

八加二　八二加四　八三加六
八四加八　八五加十　八六十二
八七十四　八八十六　八九十八
八十八進一十

八二加下二
八三加下四
八四天化式
八五天化式
八六天化式
八七八十式
八八八十式
八九八十式
八十八進一十
八一加下二
八二加下四
八三加下六

四八の奥の書き方の数

二小割あり	二一 天化入	二進一十	三小割あり	三一 七一加	三二 四平二加	三進一十	四小割あり	四一 十二加	四二 天化入
四三 四十二加	四進一十	五小割あり	五一 加一	五二 加二	五三 加三	六小割あり	六一 加下四	六二 十二加	六三 天化入
六四 二十四加	六五 四十二加	六進一十	七小割あり	七一 加下三	七二 加下六	七三 十二加	七四 十八加	七進一十	八小割あり
八一 加下二	八二 加下四	八三 加下六	八四 天化入	八五 十二加	八六 十四加	八七 十六加	八進一十	九小割あり	九一 加下一
九二 加下二	九三 加下三	九四 加下四	九五 加下五	九六 加下六	九七 加下七	九八 加下八	九進一十		

△見一乃割へる又二五化九一と云ことなへて一と云て九と一と二けたに成ることをたとへば十一ことを十一人あるを一を二十とたとへて下みてを今ふと二乃一とうくんどを十人ある也と十人ある也ことをうくんぬるを見二五化九一をいつて九と一と二けたふうして九と一の九とうて一乃割へる仮令ばこれぬ時乃ち五を二人ひれぬ時とて下に八十を

第八

見一乃割へる仮令ばこれの事

見一五化九一
帰一信一 一進一十

見二五化九二
帰一信二 八奥二成入

見三五化九三
帰一信三 八奥三成入

見四五化九四
帰一信四 八奥四成入

見五五化九五
帰一信五 八奥五成入

見一五化九一 仮令ば十一ことを十九乃ち一のことを乃ち時ふ用多也又百のことを乃ち十乃ちことを割を四ることを

見二五化九二 乃ち時ふ用多也又百のことを乃ち二十のことを二乃ち二のことを割を四ることを

見三五化九三 乃ち時ふ用多也又百のことを乃ち三十のことを三乃ち三のことを割を四ることを

見四五化九四 乃ち時ふ用多也又百のことを乃ち四十のことを四乃ち四のことを割を四ることを

見五五化九五 乃ち時ふ用多也又百のことを乃ち五十のことを五乃ち五のことを割を四ることを

見六　安伏化九六
帰一信六　八安六伏八

見七　安伏化九七
帰一信七　八安七伏八

見八　安伏化九八
帰一信八　八安八伏八

見九　安伏化九九
帰一信九　八安九伏八

右のごとくいつれもいつれもなるべし
かくのごとくなれば
もしもこれにしたがいて
いつれもいつれもあらん

見一圖

百目と　見一安伏化九一
十六匁　八帰一信一
六分二厘　四信一安二進
一進二十　一進二十　一進二十　一進二十　一進二十　五六匁四
一進二十　一進二十　二六匁二分
四信一　四信一　四信一
見一安伏化九一　六匁四六分
百目の
百目の
百目の

▲張百目と十二刻ハ九匁●九毛●九糸

▲同十二刻ハ八匁三下三り三毛

▲同十三刻ハ七匁六下四り三毛

▲同十四刻ハ七匁下四り三毛

▲同十五刻ハ六匁三下四り三毛

▲同十六刻ハ六匁下四り三毛

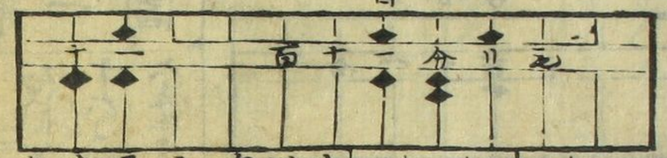
▲同十七刻ハ六匁八分八り三毛

▲同十八刻ハ六匁六下四り三毛

▲同十九刻ハ六匁下六り三毛

見二掛算

あるひハ張六匁ゟ初ル六匁ゟ十六あるとき毛ハ百目ゟ始ル也



六匁	三十				
一九	九				
		二六	十二		
		一二	二		
		六六	四六		
		六	六		

たのたかとたく六匁銀分ゟ五下の分ゟ十三けたさらそ山三けたゟ分ゟ五下の分ゟ十三右ゟ分ゟたけ紙ゟ六匁とと坂ゟ一ゟ三ゟ右ゟ分ゟ

又右ゟ銀分ゟたの十六とゟ百ゟ時ゟ二分ゟ五ゟ二ゟ下ゟ

たのたゟ百ゟ十二ゟ百ゟ又一ゟ百ゟ分ゟ十三ゟ百ゟ分ゟ右ゟ

十とゟ百ゟ十二ゟ百ゟ八ゟ百ゟ分ゟ十三ゟ百ゟ分ゟ右ゟ

六匁ゟたのたゟ百ゟ六匁五ゟ百ゟ百目ゟ分ゟ

▲張百目と十二刻

▲同二十二刻ハ

▲同二十三刻ハ

▲同二十四刻ハ

▲同二十五刻ハ

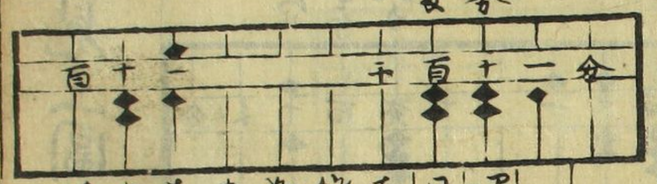
▲同二十六刻ハ

▲同二十七刻ハ

▲同二十八刻ハ

▲同二十九刻ハ

見二圖



あるひハ二百とゟ初ル時ハ二十毛ゟ初ル

十六匁ゟ初ル

見二掛算

帰一信二	六八半八分	二天低六	一五十	六八六	六半八
見二掛算					二八十六

たゟ十六とゟ右ゟ銀百九ゟ百目ゟ見二掛算

低九二ゟ百目の分ゟ九ゟ低り二ゟ八ゟ

銀九とたの右ゟ九ゟにゟ

九の所ゟそひけたひけれ時ゟ帰一信二と云て九ゟ

たゟ九ゟ九ゟ八ゟ右ゟ

十とゟ八ゟ右ゟ二ゟ低ゟ二ゟ天低ゟ銀ゟ

たのたとゟ六ゟ銀ゟ

かけさん

▲張百同と巫三刹ハ
三文銭二リ宛也

▲同二十二刹ハ
三文五ツ二リ宛

▲同二十三刹ハ
三文●三リ●三京

▲同二十四刹ハ
銭文四貫三百

▲同二十五刹ハ
銭文八ツ宛八百

▲同二十六刹ハ
銭文七ツ七リ七也

▲同二十七刹ハ
銭文七ツ●二也

▲同二十八刹ハ
銭文七ツ●三リ一也

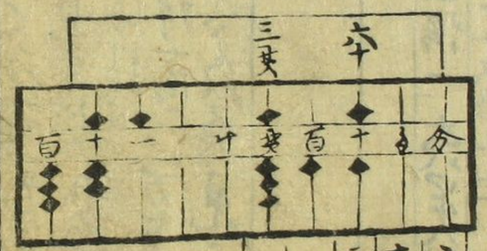
▲同二十九刹ハ
銭文四貫四百也

見三圖

ある人沼三貫六拾貫と
三百七拾文あいもとめ
八文を借文ふるもとめて也

とうれば時
見一ツ五分九二
ひろれば時 文八貫三百
帰一借一

文八 四貫三百七拾文
見三ツ五分九三

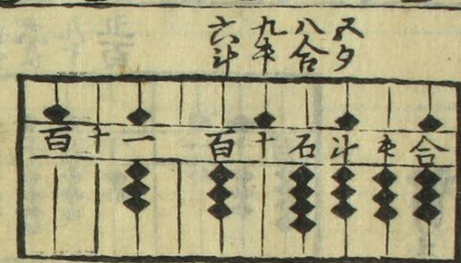


文八 四貫三百七拾文
見三ツ五分九三

文六 三百七十二

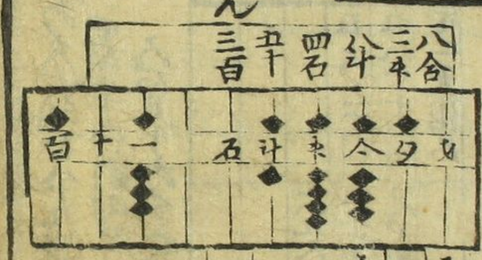
▲流百目と六十二匁八
[illegible]
▲同四十二匁八
[illegible]
▲同四十三匁八
[illegible]
▲同四十四匁八
[illegible]
▲同四十五匁八
[illegible]
▲同四十六匁八
[illegible]
▲同四十七匁八
[illegible]
▲同四十八匁八
[illegible]
▲同四十九匁八
[illegible]

見五圖



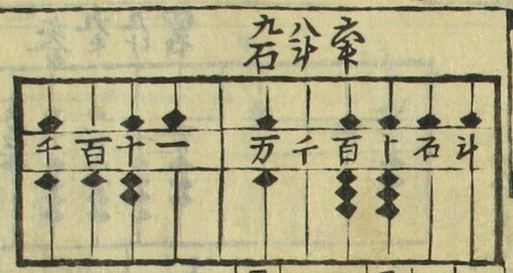
ある人米三百五十四石八分
三本合を
又百八匁八分九本八合多つる也

とるる時
見五重低九五
ひるる時
又八合の内低入
帰一倍又



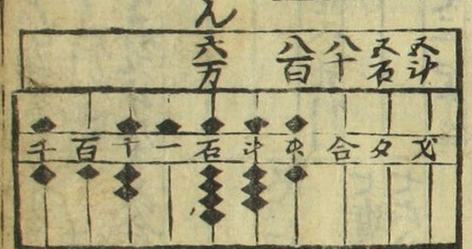
又三倍低六
六八四十八引
見五重低文
八九七十二引
五四倍低八
五四倍低四
又八四十引
五進一十
五三倍低四
又八四十
八四十
又文丹文
又八四十
八九七十二
又九四十
六八四十八
又六 四七
ありあハ六分九本八合多つるを
又百八匁ありとるれハ
三百四十四石八分三本八合なる也

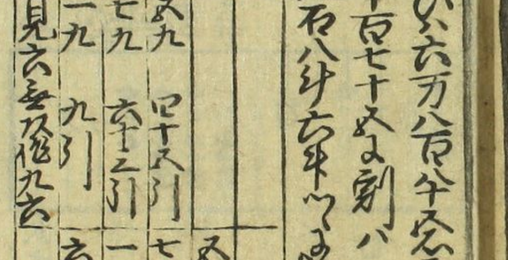
見六圖



ある人六万八百千六文六分を
六千百七十六文六分
九石八分六本つる也

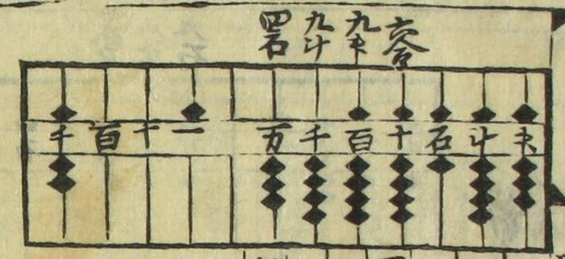
とるる時
見六重低九六
ひるる時
又八合の六低入
帰一倍六




文九 四十文引
七九 六十二引
一九 九引
見六重低九六
文八 四十引
七八 文十六引
一八 八引
文六 三十引
六七 四十二引
一六 六引
文八 四十
七八 文十六
一八 八
文九 四十五
七九 六十二
一九 九
文六 三十
六七 四十二
一六 六

▲拾石四斗七升一刻ハ
七千二百八十九文
▲同七千二刻ハ
七千二百八十分
▲同七十二刻ハ
七百八十九文
▲同七十四刻ハ
七百八十一文
▲同七十八刻ハ
七百八十二文
▲同七十六刻ハ
七百八十三文
▲同七十七刻ハ
七百八十四文
▲同七十八刻ハ
七百八十五文
▲同七十九刻ハ
七百八十六文

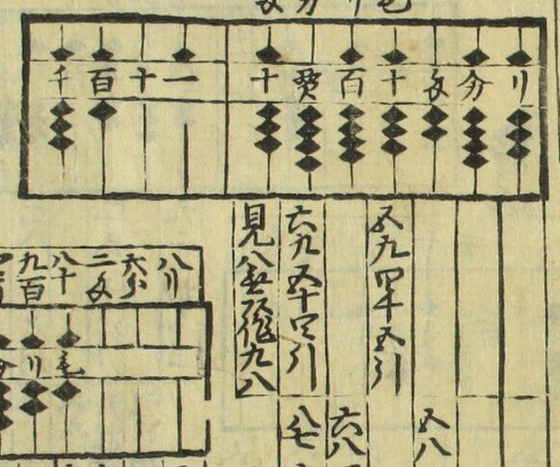
見七圖



あらひ米三万四千九百九十六
七千六百九十二刻ハ
四石九斗九升六合ツヽ
とれば
見七ヒ五ツ低九七
石九斗九升
ひれ々は
帰一信七
又八ツ六の七低八

						又六 五十四
					又九 四十六	七進 一十
				又九 四十六	七進 一十	七四 六十六
			又九 四十六	七進 一十	七四 六十六	
		又九 四十六	七進 一十	七四 六十六		
	又九 四十六	七進 一十	七四 六十六			
又九 四十六	七進 一十	七四 六十六				
七進 一十	七四 六十六					
七四 六十六						

見八圖



▲拾石四斗七升一刻ハ
七千二百八十九文
▲同八十二刻ハ
七千二百八十分
▲同八十三刻ハ
七百八十九文
▲同八十四刻ハ
七百八十一文
▲同八十六刻ハ
七百八十二文
▲同八十七刻ハ
七百八十三文
▲同八十八刻ハ
七百八十四文
▲同八十九刻ハ
七百八十五文

あらひ米三万四千四百九十六
八千六百八十三刻ハ
九斗九升六合ツヽ
とれば
見八ヒ五ツ低九八
ひれ々は
帰一信八
又八ツ六の八低八

						又六 三十
					又八 四十八	
				又八 四十八		
			又八 四十八			
		又八 四十八				
	又八 四十八					
又八 四十八						

						又六 三十
					又七 四十八	
				又七 四十八		
			又七 四十八			
		又七 四十八				
	又七 四十八					
又七 四十八						

						又六 三十
					又八 四十八	
				又八 四十八		
			又八 四十八			
		又八 四十八				
	又八 四十八					
又八 四十八						

						又六 三十
					又九 四十六	
				又九 四十六		
			又九 四十六			
		又九 四十六				
	又九 四十六					
又九 四十六						

						又六 三十
					又九 四十六	
				又九 四十六		
			又九 四十六			
		又九 四十六				
	又九 四十六					
又九 四十六						

						又六 三十
					又九 四十六	
				又九 四十六		
			又九 四十六			
		又九 四十六				
	又九 四十六					
又九 四十六						

						又六 三十
					又八 四十八	
				又八 四十八		
			又八 四十八			
		又八 四十八				
	又八 四十八					
又八 四十八						

						又六 三十
					又七 四十八	
				又七 四十八		
			又七 四十八			
		又七 四十八				
	又七 四十八					
又七 四十八						

						又六 三十
					又八 四十八	
				又八 四十八		
			又八 四十八			
		又八 四十八				
	又八 四十八					
又八 四十八						

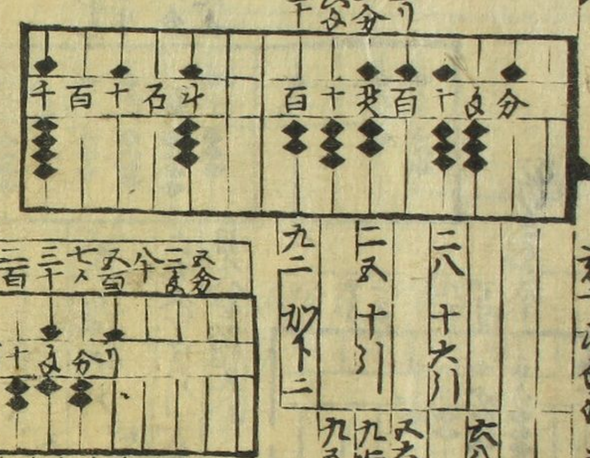
						又六 三十
					又九 四十六	
				又九 四十六		
			又九 四十六			
		又九 四十六				
	又九 四十六					
又九 四十六						

あらひハ四石九斗九升六合ツヽを
七千八百九十六刻あらそれハ
三万四千九百九拾六文ハ本文

あらひハ九文八分七厘六毛ツヽと
八千六百文あらそれハ
八拾四貫九百八十二文九文分ハ

▲銀百匁を九十一刻ハ
そろばんの九り八を
▲匁九十二刻ハ
そろばんの八り六を
▲匁九十三刻ハ
そろばんの七り五を
▲匁九十四刻ハ
そろばんの六り四を
▲匁九十五刻ハ
そろばんの五り二を
▲匁九十六刻ハ
そろばんの四り一を
▲匁九十七刻ハ
そろばんの三り〇を
▲匁九十八刻ハ
そろばんの二り〇を
▲匁九十九刻ハ
そろばんの一り〇を

見九圖

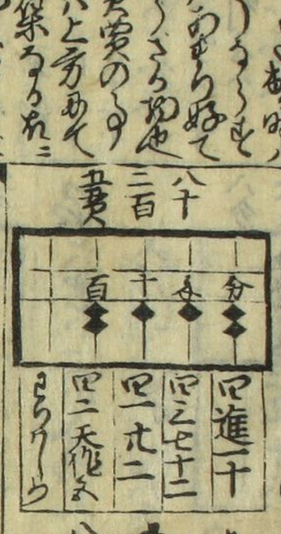


九千五百五十六匁
銀十六匁四分
九二 加ト二
二八 十六
二八 十六
二八 十六

[illegible]

▲米壹貫の内
[illegible]

同日うてうけさんふのこと



弟十　米のうりひろうひの事

○米八百十石ゑ時銀拾ゑ付米四十二年銀合乃わ場ニ
ゆ米八百十石と銀九ゑ時銀拾ゑ
右ゑ米八百十石と銀九ゑ時銀拾ゑ付米四十二年銀合乃わ場ニ
右ゑ米八百十石と銀九ゑ時銀拾ゑ付米四十二年銀合乃わ場ニ
と云ふ事ゑ米八百十石と銀九ゑ時銀拾ゑ付米四十二年銀合乃わ場ニ
右

米の数と合するとき
米八百六十七石八斗
右に合する二分九厘
十四文七十六匁と
四二分八厘九毛剰て
残六十四文九厘
二匁六分四厘九毛
八分八厘九毛剰て
七匁六分四厘九毛
剰て十四文七十六
匁四二分八厘九毛
剰て十四文七十六
匁四二分八厘九毛
剰て十四文七十六
匁四二分八

中米二石四斗四合九夕

下米四石九合八夕

根三石合弐百十四文

ぶん代七百十文下とした

とたへ加下米の代銭

合百七十三文下とした

とられでよ米を

そ也ち中と

第十二　あらうゆるし代事

○米八百四十四文ハ代銭

ちく本国行銭

先米を右と

右八百四十四文

○四斗俵代千三百十六文

一石ニ付
代銭四百文
一石ニ付
代銭七百文

八百十八合七勺三才

ん上米の代銭を八百文

ん代銭二百文千一百

ぶん九百四文ハ

合百七十三文下とした

とられでよ米を

そ也ち中と

○米八百四十四文ハ代銭

ちく本国行銭

先米を右と

右八百四十四文

○四斗俵代千三百十六文

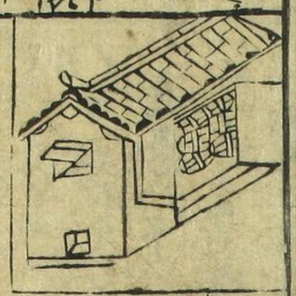
一石ニ付三百十六文ハ

国行銭

一石ニ付八百四十四文

八百十八合七勺三才

右四斗俵代千三百十六文也



○米の国三斗八升俵合五百俵の代四百

八本俵付指ちがいて

俵を三斗四升俵と

三石合千八百俵代指九貫六百目也　四斗八升俵高俵

ナシ高ものとかりもとく七貫八百目と

ナシ高とうとれて七貫八百目

みくまれくナニ

七貫八百目

十文ハ

と也　別ニ四斗俵高俵小

みくまれくナニ

七貫八百目

十文ハ

と也　右四斗俵代銭

右四斗俵代銭

○俵数合九百五十八俵也　右四斗俵代銭

○米の国三斗八升俵合五百俵の代四百

八本俵付指ちがいて

俵を三斗四升俵と

三石合千八百俵代指九貫六百目也　四斗八升俵高俵

ナシ高ものとかりもとく七貫八百目と

ナシ高とうとれて七貫八百目

みくまれくナニ

七貫八百目

十文ハ

と也　別ニ四斗俵高俵小

みくまれくナニ

七貫八百目

十文ハ

と也　右四斗俵代銭

右四斗俵代銭

○俵数合九百五十八俵也　右四斗俵代銭

第十二　あらうゆるし代事

○俵数合九百五十八俵也　右四斗俵代銭

又ゝ五十五束俵数
五束ゝ五束ゝ五束ゝ五束ゝ五束
五束ゝ五束ゝ五束ゝ五束ゝ五束
五束ゝ五束ゝ五束ゝ五束ゝ五束

○なを書よりの十八義
[illegible]
[illegible]
[illegible]

十一文七下　八十二文十八
十一文八下　八十文三分
十二文九下　八十文下七
十二文
十二文一下　八十文
十二文二下　七十九文三三
十二文三下　七十八文六八
十二文四下　七十八文十四八
十二文五下　七十七文四一
十二文六下　七十六文八
十二文七下　七十五文六九
十二文八下　七十四文四一
十二文九下　七十三文八四
十三文

なを書みハ錢を銀にしての賣買よりてらくしてくるしきなるとも錢よりくるしきなるとも乃賣買のあとをもうしるしなり

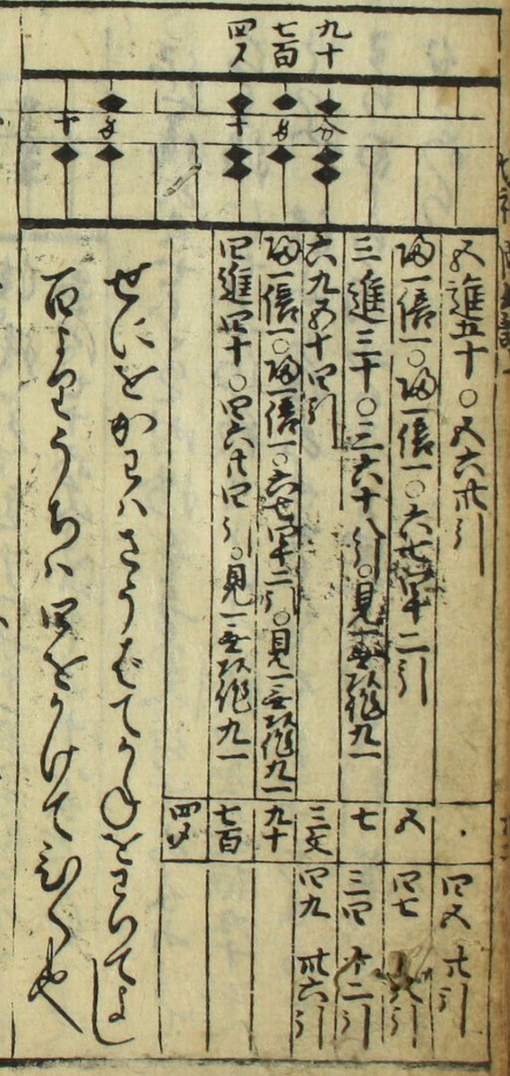
一賣文ヨ付

十九文一下
十九文二下
十九文三下
十九文四下
十九文五下
十九文六下
十九文七下
十九文八下
十九文九下
廿文

一文　ヨ付

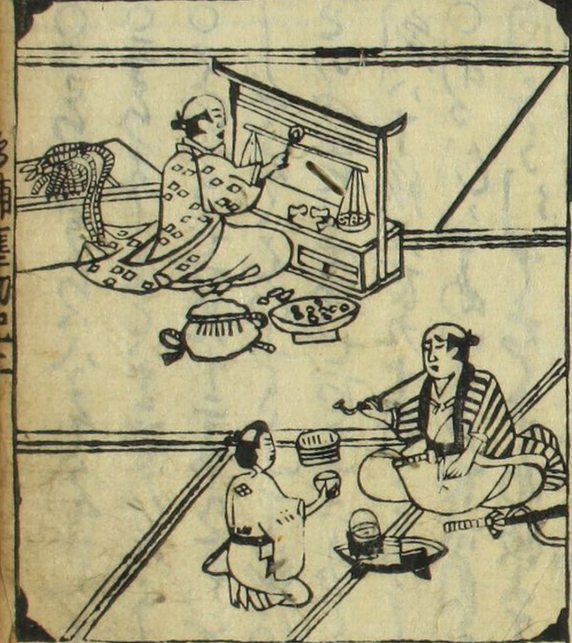
廿文下二文
廿文
廿九文七四
廿九文四八
廿八文二三
廿八文九七
廿八文七三
廿八文四八
廿八文二四
廿八文

○錢六賣八百文の時ハ賣文ニ付指七文ずつ右く錢の銀ハ銀にしてとるなり銀百指ハ文ハ百指文ハ百指文ハ百指



四ふんと五二分とハ
めりてこ文四ト
とハ六十月みてもう
四りめとたくめのト
へくくくハ四めのため
三ふ四要七百文を
ふけて四十要百四
八文四四四八文
よハな書よみこと
おくくくとうけて、
こ十六文四八く
ふて四八と捨也
○な書ふと張中
四りくくくすみこと
くくくハをくすん
ちくこのハ四な書ハ
四要これのくしめ
あ要ふうこ也
古張きひ九文要
中ふり張下り張そ
ふ要下のとけを
仕商人乃要要
抽ハ張ト中下

張二百合二百四十四文ふ張乃お張十七文
くたくくくて中張のくくくだ十四文四ト
合三十張文四ト四文
四りとくれ七要八百四十文ハ百四十文ハ
第十八
張あげ人乃事



○下張八百六張九文四
時よ張くのみ四武
割引ふくくくて時に
ちくて張に庚吹行張
と言庚吹量四十四文
卯ト文法ふ八百六張
九文ちに五文くくと也
八庚吹四量四十文二下之

○二ヨリ引うち八ハ八そ八十二てうるそと八十二てうるそ
○二ヨリ引そと八十二をけてうる図ハ八そうるそ
○くのあさ七百九十二文のそもと丁銀二図二割すし
てたくくのあさふ丁銀行ると宮九百九十匁
といふ 右ハ所銀七百九十匁の割ハ一銀九百九十匁
○あるひハ九百六匁と丁銀ニうる時
図ニヨリて たくまあ銀ハ丁銀行ると
丁銀九百割文ニうるのあ ○ まつ十文とたる
図ニヨリハ銀てハ九文ニうるそもと九百六匁
○二分引うちハ九七をとうるそ和ハ一下ニてうる
○三分ますそと八一下ニをけ図ハ九七でうるそ
右行ると四銀ニ図二割文ヨリとうる銀
先ハ十文ニ図ニ文ヨリ銀てハ七文ヨリ銀行ると

○図ニヨリとうるハ
十文の代ハ九文七ト
百目の代ハ九十七匁
又ハ丁ヨリとうハ
十文ニヨリの代ハ十文
銀百ニ文の代ハ百匁
○銀四十三の割ハ
銀ニ文の割ハ
或ハ一銀ハ十匁
ちく四十匁
○銀ニ文の代ハ百匁
○銀四十三の割ハ
銀ニ文の割ハ
或ハ一銀ハ十匁
ちく四十匁
剣て行銀行ると
ちうるハ声也
▲金あうハ
な書ハ金ニ文
図ニ行て行ハ
ちうるそ
大判と小判ハ
ちうる 銀ニ
ちうるハ大判と小判と
あうを加和し
○大判十枚を
そもと小判十枚分

銀四十三割

一二 加ト十匁	二匁 加ト九匁	四十三進一十
三六加ト四十二	四九加ト十三	

第十六

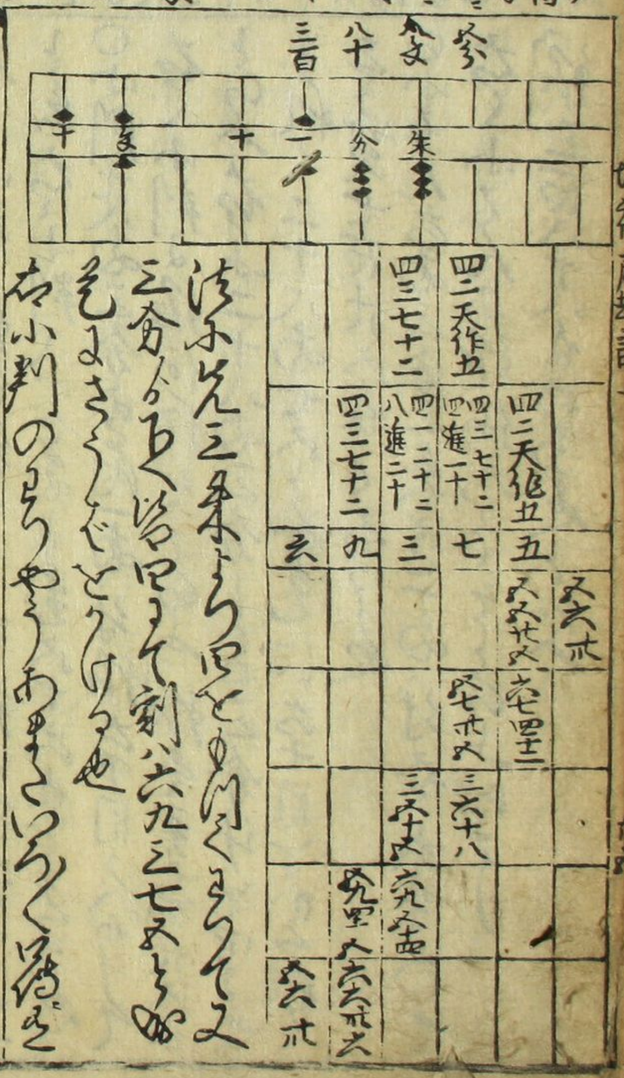
金あうハ

○金ハ文ヨリ銀ハ百九八文ヨリ
ちく金ニ銀行ると ○ 銀三百目とハ判金
ニ文の代ハ四十匁文ヨリ銀百九八文を
四十匁文ヨリ銀ハ合ニ文ハ銀十二文ハ
ニ文とちく金九文ハ銀三百目ちく
ちうるハ銀四ちうるハ銀ハ
ちうる人ハ文ヨリ銀ハ
○あるハ金七文ヨリ銀ハ判金ハ
百目ちうの時文百目ちく四十匁てうるハ合ちうハ銀
十一文ニちうるを
四文ハリとうるハ銀八十匁文九ハ九り九ニ九文九ハ文

紙九文八分にして
小判の紙代紙八
本半目八分にして
小判百十二匁と云
ふ云ふ大判十文
枚とたるなり
七匁二分九文
四厘一分二毛にして
九匁と八本半目に当
りて一文と云
二文八分にして一文と云
ふなり
○大判の数三匁の
内にて三匁と
乃道々と云ふ数匁
乃道々とは
阿小判の代紙
とにしにて
七匁紙二本半にて
紙八本半目
にして行程合
小判本四匁二分
紙十文八分と云
ふ数三匁と

三枚八匁と合八枚
八匁と云ふ
七匁二十一文と本半
四厘二十文と本半
にして
ふ数三匁
ふ数三匁
ふ数三匁

▲小判あうの分
○銀一貫六百八十目
ゆくえと一致に付
七十目之乃小判
之下若しくは
小粒ゆく先
とのをみらて
一致ゆりて切賣
と引えの下付に
付銀としか
小粒七匁
法に銀壹貫
六百八十目をたに
そうぐ方ゆ
小さらちんゆと
そうて七十目ゆ分
しゆえ方ゆ別て
仕合をゆく別て
銀八そのゆ
えはゆとゆ
▲為利見くゆ
本書に金に利見
ゆ一家に加へ初へ


為
八十
三百
十
二
分
朱
四二天作五
四三七十二
四三天作五
四三七十二
四一二十二
八進二十
四三七十二
七
三
九
三六十八
三分十文
究金
究四
六六六文
六六六文
六六六文

二割ニ付ては　合三貫二百六十八匁二分四厘一毛
三割ニ付ては　合三貫四百二十匁七分六厘一毛
四割ニ付ては　合三貫六百三匁五分二厘
五割ニ付ては　合三貫七百九十匁八分四厘六毛

右利をとり候時八右ニ一貫目ニ付
五匁宛一貫八百目ニ付九匁宛
○銀三貫目ニ付十匁宛七年ニ付八分
十匁宛ニて何程の如ニ銀平七貫六百六拾
匁宛ニ付ては右ニ三貫目ニ付一貫
五十匁かゝる也　右ニ付銀七十六匁
○右銀七十六貫八百目ニ付一ヶ月ニ付利八分
乃ち一ヶ月ニ付八百目ニ付八分ニて
利銀三貫六百八十六匁四厘ニ付
○右銀七十六貫八百目ニ付八分宛
利ニ付利をとる時ハ右銀ニ付
三貫七百六十目九分二厘ニ付
右銀ニ付利をとる時ハ右銀
○又右銀七十六貫八百目ニ付
利ニ付利をとる時ハ右銀ニ付
七拾六貫八百目を右ニ八分宛
利ニ付利をとる時ハ右銀ニ付
○右銀七十六貫八百目ニ付八分宛
利ニ付利をとる時ハ右銀ニ付
三貫七百六十目九分二厘ニ付
右銀ニ付利をとる時ハ右銀ニ付
○右銀七十六貫八百目ニ付八分宛
利ニ付利をとる時ハ右銀ニ付
七拾六貫八百目を右ニ八分宛
利ニ付利をとる時ハ右銀ニ付
○又

ぬうを七貫八百目にうけ
初くはかくのごとく
なれば初物ぬきと
ごとく八七十六八百
目とうけてうけへし
○なを来六十七を
三年しろ利にて利
とうけて元利法に
十三と十二と十一と
なうけ合て十七去
しめを六十六うけ
てうし
○なを利元二百六
七石六斗八升を
てなを初めて
右くを初めて
十七一六をもて
元利法
▲元ぬもめんうら
うひの事
○一てんに付四匁五
分

先百六七石二斗八升と有て三年めに一割より十と加て十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又二年めに十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又三年めに十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又四年めに十四と加て十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又五年めに十五と加て十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又六年めに十六と加て十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又七年めに十七と加て十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又八年めに十八と加て十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又九年めに十九と加て二十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又十年めに二十と加て二十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又十一年めに二十一と加て二十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又十二年めに二十二と加て二十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又十三年めに二十三と加て二十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又十四年めに二十四と加て二十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又十五年めに二十五と加て二十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又十六年めに二十六と加て二十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又十七年めに二十七と加て二十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又十八年めに二十八と加て二十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又十九年めに二十九と加て三十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又二十年めに三十と加て三十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又二十一年めに三十一と加て三十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又二十二年めに三十二と加て三十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又二十三年めに三十三と加て三十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又二十四年めに三十四と加て三十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又二十五年めに三十五と加て三十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又二十六年めに三十六と加て三十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又二十七年めに三十七と加て三十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又二十八年めに三十八と加て三十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又二十九年めに三十九と加て四十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又三十年めに四十と加て四十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又三十一年めに四十一と加て四十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又三十二年めに四十二と加て四十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又三十三年めに四十三と加て四十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又三十四年めに四十四と加て四十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又三十五年めに四十五と加て四十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又三十六年めに四十六と加て四十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又三十七年めに四十七と加て四十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又三十八年めに四十八と加て四十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又三十九年めに四十九と加て五十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又四十年めに五十と加て五十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又四十一年めに五十一と加て五十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又四十二年めに五十二と加て五十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又四十三年めに五十三と加て五十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又四十四年めに五十四と加て五十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又四十五年めに五十五と加て五十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又四十六年めに五十六と加て五十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又四十七年めに五十七と加て五十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又四十八年めに五十八と加て五十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又四十九年めに五十九と加て六十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又五十年めに六十と加て六十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又五十一年めに六十一と加て六十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又五十二年めに六十二と加て六十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又五十三年めに六十三と加て六十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又五十四年めに六十四と加て六十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又五十五年めに六十五と加て六十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又五十六年めに六十六と加て六十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又五十七年めに六十七と加て六十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又五十八年めに六十八と加て六十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又五十九年めに六十九と加て七十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又六十年めに七十と加て七十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又六十一年めに七十一と加て七十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又六十二年めに七十二と加て七十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又六十三年めに七十三と加て七十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又六十四年めに七十四と加て七十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又六十五年めに七十五と加て七十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又六十六年めに七十六と加て七十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又六十七年めに七十七と加て七十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又六十八年めに七十八と加て七十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又六十九年めに七十九と加て八十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又七十年めに八十と加て八十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又七十一年めに八十一と加て八十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又七十二年めに八十二と加て八十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又七十三年めに八十三と加て八十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又七十四年めに八十四と加て八十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又七十五年めに八十五と加て八十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又七十六年めに八十六と加て八十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又七十七年めに八十七と加て八十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又七十八年めに八十八と加て八十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又七十九年めに八十九と加て九十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又八十年めに九十と加て九十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又八十一年めに九十一と加て九十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又八十二年めに九十二と加て九十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又八十三年めに九十三と加て九十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又八十四年めに九十四と加て九十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又八十五年めに九十五と加て九十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又八十六年めに九十六と加て九十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又八十七年めに九十七と加て九十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又八十八年めに九十八と加て九十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又八十九年めに九十九と加て百とたて五十六百六七石二斗八升と割て又九十年めに百と加て百一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又九十一年めに百一と加て百二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又九十二年めに百二と加て百三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又九十三年めに百三と加て百四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又九十四年めに百四と加て百五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又九十五年めに百五と加て百六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又九十六年めに百六と加て百七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又九十七年めに百七と加て百八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又九十八年めに百八と加て百九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又九十九年めに百九と加て百十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百年めに百十と加て百十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百一年めに百十一と加て百十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百二年めに百十二と加て百十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百三年めに百十三と加て百十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百四年めに百十四と加て百十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百五年めに百十五と加て百十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百六年めに百十六と加て百十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百七年めに百十七と加て百十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百八年めに百十八と加て百十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百九年めに百十九と加て百二十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百十年めに百二十と加て百二十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百十一年めに百二十一と加て百二十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百十二年めに百二十二と加て百二十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百十三年めに百二十三と加て百二十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百十四年めに百二十四と加て百二十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百十五年めに百二十五と加て百二十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百十六年めに百二十六と加て百二十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百十七年めに百二十七と加て百二十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百十八年めに百二十八と加て百二十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百十九年めに百二十九と加て百三十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百二十年めに百三十と加て百三十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百二十一年めに百三十一と加て百三十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百二十二年めに百三十二と加て百三十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百二十三年めに百三十三と加て百三十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百二十四年めに百三十四と加て百三十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百二十五年めに百三十五と加て百三十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百二十六年めに百三十六と加て百三十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百二十七年めに百三十七と加て百三十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百二十八年めに百三十八と加て百三十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百二十九年めに百三十九と加て百四十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百三十年めに百四十と加て百四十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百三十一年めに百四十一と加て百四十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百三十二年めに百四十二と加て百四十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百三十三年めに百四十三と加て百四十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百三十四年めに百四十四と加て百四十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百三十五年めに百四十五と加て百四十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百三十六年めに百四十六と加て百四十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百三十七年めに百四十七と加て百四十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百三十八年めに百四十八と加て百四十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百三十九年めに百四十九と加て百五十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百四十年めに百五十と加て百五十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百四十一年めに百五十一と加て百五十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百四十二年めに百五十二と加て百五十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百四十三年めに百五十三と加て百五十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百四十四年めに百五十四と加て百五十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百四十五年めに百五十五と加て百五十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百四十六年めに百五十六と加て百五十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百四十七年めに百五十七と加て百五十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百四十八年めに百五十八と加て百五十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百四十九年めに百五十九と加て百六十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百五十年めに百六十と加て百六十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百五十一年めに百六十一と加て百六十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百五十二年めに百六十二と加て百六十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百五十三年めに百六十三と加て百六十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百五十四年めに百六十四と加て百六十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百五十五年めに百六十五と加て百六十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百五十六年めに百六十六と加て百六十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百五十七年めに百六十七と加て百六十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百五十八年めに百六十八と加て百六十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百五十九年めに百六十九と加て百七十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百六十年めに百七十と加て百七十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百六十一年めに百七十一と加て百七十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百六十二年めに百七十二と加て百七十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百六十三年めに百七十三と加て百七十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百六十四年めに百七十四と加て百七十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百六十五年めに百七十五と加て百七十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百六十六年めに百七十六と加て百七十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百六十七年めに百七十七と加て百七十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百六十八年めに百七十八と加て百七十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百六十九年めに百七十九と加て百八十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百七十年めに百八十と加て百八十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百七十一年めに百八十一と加て百八十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百七十二年めに百八十二と加て百八十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百七十三年めに百八十三と加て百八十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百七十四年めに百八十四と加て百八十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百七十五年めに百八十五と加て百八十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百七十六年めに百八十六と加て百八十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百七十七年めに百八十七と加て百八十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百七十八年めに百八十八と加て百八十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百七十九年めに百八十九と加て百九十とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百八十年めに百九十と加て百九十一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百八十一年めに百九十一と加て百九十二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百八十二年めに百九十二と加て百九十三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百八十三年めに百九十三と加て百九十四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百八十四年めに百九十四と加て百九十五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百八十五年めに百九十五と加て百九十六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百八十六年めに百九十六と加て百九十七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百八十七年めに百九十七と加て百九十八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百八十八年めに百九十八と加て百九十九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百八十九年めに百九十九と加て二百とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百九十年めに二百と加て二百一とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百九十一年めに二百一と加て二百二とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百九十二年めに二百二と加て二百三とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百九十三年めに二百三と加て二百四とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百九十四年めに二百四と加て二百五とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百九十五年めに二百五と加て二百六とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百九十六年めに二百六と加て二百七とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百九十七年めに二百七と加て二百八とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百九十八年めに二百八と加て二百九とたて五十六百六七石二斗八升と割て又百九十九年めに二百九と加て三百とたて五十六百六七石二斗八升と割

第十九

○元ぬもめんの丈すと云ハ大工の方ひと一人二寸と
おもうて言へとも
○もめん一てんに付紙四匁五分と云ハ二丈四尺と時
言へとも紙にてこれ一人に付きをうりとれふ
有ゆへ紙にてこれ二丈四尺をもて
有ゆへ 元四匁五分をもて二丈四尺とてこれだ
言へ 紙にて言へハ一ハリとれとも
又四匁五分にてをうけてをきをうりとれひとを

○元ぬもめんの丈すと云ハ大工の方ひと一人二寸と
おもうて言へとも
○もめん一てんに付紙四匁五分と云ハ二丈四尺と時
言へとも紙にてこれ一人に付きをうりとれふ
有ゆへ紙にてこれ二丈四尺をもて
有ゆへ 元四匁五分をもて二丈四尺とてこれだ
言へ 紙にて言へハ一ハリとれとも
又四匁五分にてをうけてをきをうりとれひとを

○もめんをれハ八尺四寸の物ハ四匁五分と云ハ
乃紙にて行ハ八尺四寸の物ハ一てんに付四匁五分と切
有ゆへ四匁五分をもて八尺
七寸と云紙にて言へハ七分と云ハ八尺
七寸とおもうて言へとも
又ちてこれハ八尺四寸と二丈四尺をもてこれハ
紙にて言へ一ハリ八尺四寸と云ハ八尺四寸の物ハ
四匁五分にてをうけ八尺四寸をもて
○紙にて言へ一ハリ八尺四寸
もて言へ二丈四尺八尺と
何紙にてこれ
と有て言へ
有て二丈四尺
有て紙八尺七寸九寸二分と云ハ八尺七寸九寸二分
有て紙八尺七寸九寸二分と
右元ぬ木綿にてもこれ一端れ

新編塵劫記二目録

第一　いもさんの事
第二　長崎買物三人別状
第三　ふもれうんのうけんちの事
第四　知行拾分の事
第五　米の法の事
第六　米目入様の事
第七　枝末賣買のひろぐの事
第八　ひろぐのうしの事
第九　あけ米まうしの事
第十　面縁ふき板の事
第十一　同こうぐいのびの事
第十二　えびやうばいくとる事
第十三　くく賣買のしかた
第十四　川姫ん事
第十五　かるとふん割の事

吉田光由編

▲八ようさんの事

第一　八ようさんの事

一文二分　一文八分　二文四ト　三文　三文六ト　四文二ト　四文八分

○或ハ七つ八ようを銘々に出し時ハ八ようの代ハ

一文二ト　二文四ト　三文六ト　四文八ト　六文　七文二ト　八文四ト　九文六ト

○或ハ八つ八ようを一度に二度ものこと人ハ銘々の代ハ

○又ハ七つ八ようを銘々に出すとハ一つ一文ト云ふて一文ト云ふて

たくさんの人ハ一つ一文ト云ふて

二十一文ハ二十一文ハ

有り合せ

○又ハ七つ八ようを銘々に出すとハ一つ一文ト云ふて

○又ハ七つ八ようを銘々に出すとハ一つ一文ト云ふて

第二　ありあけの賣酒二人ハ銘々別々

一　一ちんぐう　○七十文　○武百六十文　一ちんぐう

一　一ちんぐう　○武百八十文　一いと　○八百文

有り合せ

○銘々ハ六十四賣八百目ハ京の商人あるべし

○銘々ハ六十二賣三百目ハ堺の商人あるべし

○銘々ハ十二賣九百目ハ大坂の商人あるべし

有り合せ

○銘々ハ

有り合せ

○銘々ハ

有り合せ

○銘々ハ

京の商人乃うち

銀六拾匁貫八百目

みんだん　石を付十四
らんうう　廿八付十匹あ
いと　三千匹百二付
まきこもの　百十三まき二丈五人二寸

さゐ乃商人乃うち

銀六拾二貫三百目

みんだん　八十一付廿八匹三丈
らんうう　廿二付廿四匹一丈
いと　二千七百匹半八付百廿目
まきこもの　九十一まき一丈九尺九寸五分

大坂の商人乃うち

銀四拾二貫九百目

みんだん　六十七付七匹あを
らんうう　十八付三十匹三丈
いと　二千二百八十二付四十目
まきこもの　七十六まき二尺八寸五分

先みんだん二百六十付と右の重き人前乃ありの銀六拾貫八百目とうけ重き人前乃ありの銀六拾貫目ゆくられ、みんだん百を付二匹ゆゑ二丈ゆゑ二匹ゆゑ二丈ゆゑ二匹ゆゑ二丈ゆゑ

八合八勺八才と云
うんちんを取るハ
二百四十八文二合と
四十八文也
乃米二百八十文
二合と云
又百七十四文
二合と云
と也
百七十四文
米二百八十文
うんちんハ米
ハ
うんちんハ
米
ハ
うんちん
ハ
米
ハ
うんちんハ
米
ハ
うんちんハ
米
ハ
うんちん

こゝ行を結れ作るものを又分るを作りてその二を乃ちものをうけきるゝ〜めつゝく作るむこひ天罰乃行なを術さすろう地縄うれハろるゝ地をそろへ

○縄ところを紙に太筆にて書きもつらどもるものハりんちれ仕方ゝ不縄除ゝて八寸さ〜次分村〜うけれを村〜入れ仕境と乃をそる行ゝ〜ゝあと田畑反数ところに何千間ゝと大検と見分〜さて

山田ハ行そろへ

三反
田畝
十六
歩を

八十坪
八十坪
八十坪
八十坪
百坪
百坪
百坪
百坪
百坪
百坪
七十坪
七十坪
七十坪

十ろ
十ろ
十ろ
七ろ
八十
十八
十八

ながさ三十七ろ

法ふ長さ三十七ろに広さ二十八ろをかけてかく地八千三十六坪〜なる地を田法三百坪をもつてまれハ三反田畝十六歩とろ〜〜

たゞそろへんの長さ

上中下乃塙ゝを命と入尺をて縄とのべ〜

○上中下乃位をけ〜ふ去のゝ〜て入やう毛のと乃見方〜反数也り又ハ地田山田ゝ反数也り初ゝのゝ〜反数めゝろ地を下田ゝ地田ゝゝ〜地ゝと田乃あるゝ也ゝ書面ゝ〜ゝかゝし初又ゝらの心りゝ作ゝ〜ゝゝと中下の反作と書ゝて〜ゝ〜ゝ上中下の反作ゝゝ行程あゝゝ引こむゝゝとゝんゝ〜所力ゝ検ゝゝものゝゝゝ

法田	廣	長
百	十 間	十 間

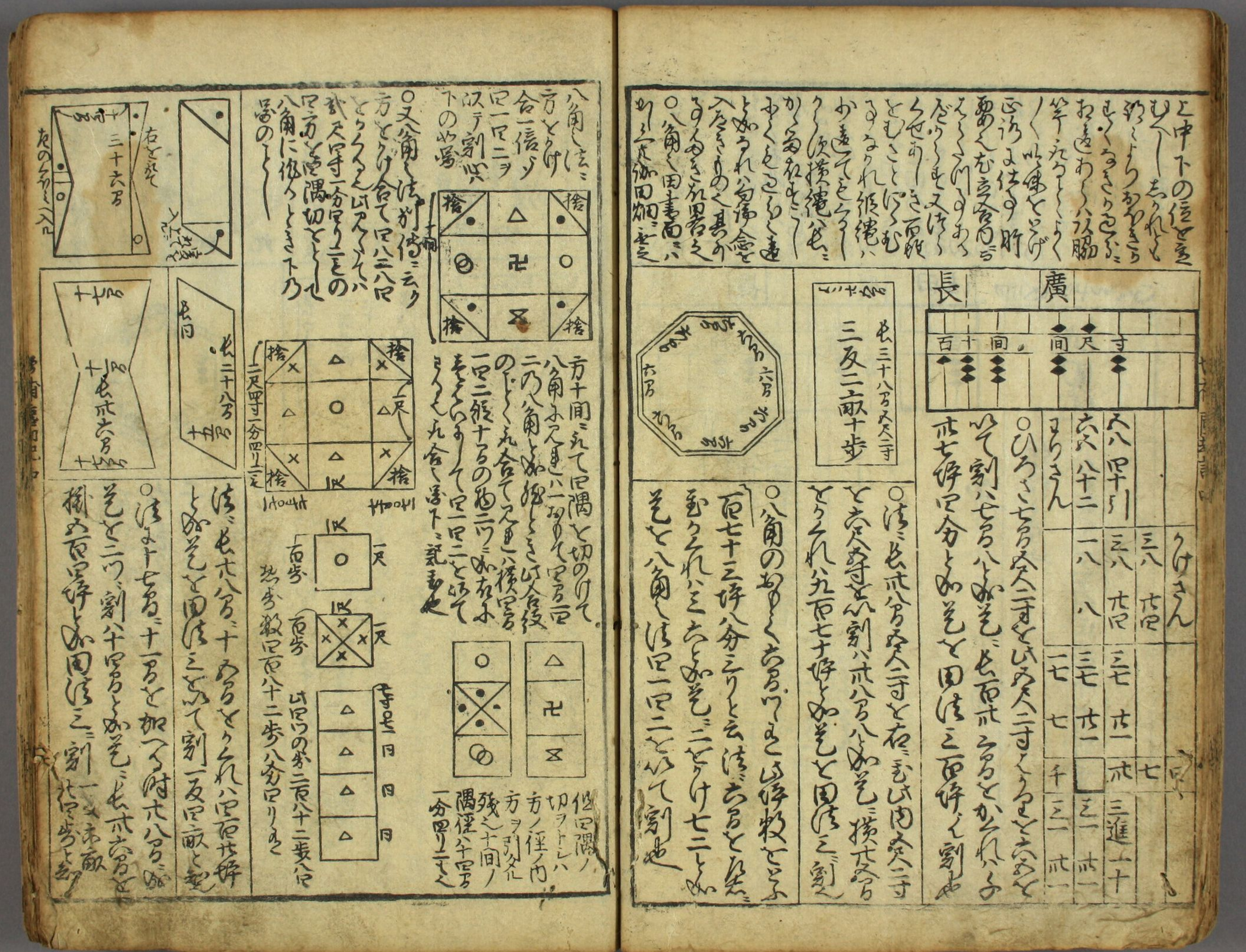
二七	七八	うげさん			
二三六百	三八二百四十	六			
千	三一	三一	三進一十	六	
三一	三一		三坪より四八		
ゆりさん					

山田ハ

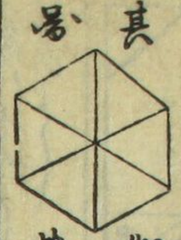
行程ところ

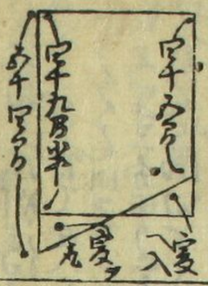
○答て三反田畝十七歩田分也ゝ云

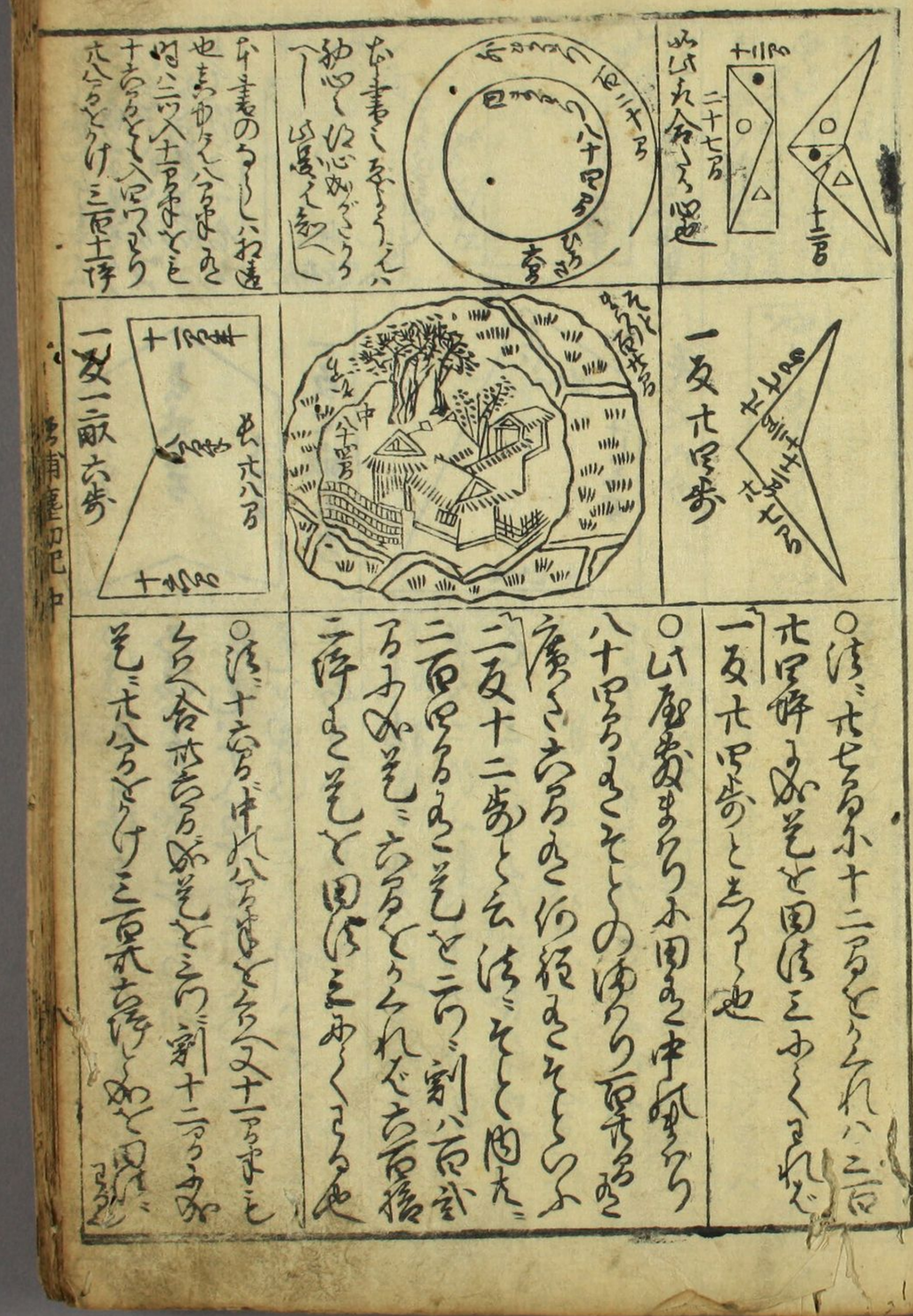
ながさ百三十三間


長
廣
百
十
間
間
尺
寸
長三十八万八千二寸
三反二畝十歩
六万
六万
六万

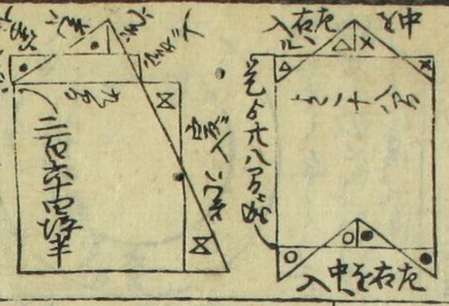
○六角し法二反九八
八三角し法ハ三ツ
ヒ合る角し
去ハ三ツて左ハ
方ケ合ハ三ヒ
ケ合ヒ




宇九分半
宇九分半
宇九分半



半とあるゝなら書とハ
二十四坪半なるゝ
程なるゝ
それなるの長とあるゝ
とて坪と入て合申



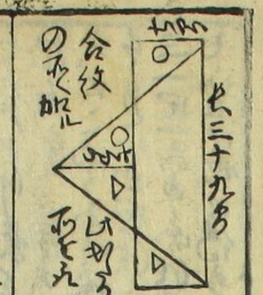
六尺あゝ割八寸ゝ
ゝめ六尺八七分充三三
也是七十六寸掛ゝ

一反七畝三歩

壱反六分

○法ゝ長三寸に六寸ゝとかゝ
ゝ坪七寸ゝめ是と二つゝ割六八寸ゝ
ゝめ是ゝ十八寸とゝれゝ六百坪ゝ
ゝめ是と四坪ゝめゝ割八一反七畝三歩
とゝゝ

○法ゝ坪寸ゝ九寸ゝゝ時六三寸ゝめ
是と二つゝ割八十一寸ゝめ是に
長六三寸とゝれハ二百卒四坪ゝめ
右ゝ割ゝ又八寸を二つゝゝれゝ
寸ゝゝめ是ゝ九寸とゝれハ六百坪ゝ
ゝめ右二百合三百坪ゝと四坪ゝ割一反壱
○法ゝ長七坪ゝ寸ゝとゝれゝ三八と
ゝめ是と六寸ゝめて割卒八坪ゝ寸ゝ
是と四坪ゝ割一畝六歩六寸



是八寸四寸ゝ
ゝゝれゝ
七九寸ゝ
陸ゝゝゝ時ハ
ハ坪ゝ
別坪ゝ

○法ゝ坪寸を二つゝ割八七寸ゝ
ゝめ是と長六九寸とゝれハ二百七十三
坪とゝめ是と四坪ゝ割九畝三歩也

○法ゝ長六寸ゝ十六寸とゝゝ
ゝ六百十二坪とゝめ是ゝ法七九
とかゝ是ハ百坪寸分八寸とゝゝ
是と四坪ゝとゝゝゝゝれゝ
一反三畝十四歩四分八厘と知ル

○法ゝ六一坪ゝゝ二つゝゝれハ
坪ゝゝゝめゝ是と六八寸ゝゝ
ゝハ三百六十四坪とゝめ是と四坪
ゝゝゝれゝ
一反二畝四歩ゝゝゝ

○法ニ廿九万と廿三万とを掛ケ八七十四万ニ成ル此ハ二ツ分ニ成ル故ニ二ツニ分ケテ三十七万ニ成ル也

○法ニ十八万と二ツ分ニ成ル故ニ九万ニ成ル也

○法ニ十九万と廿八万とを掛ケ五百四十二坪ニ成ル也

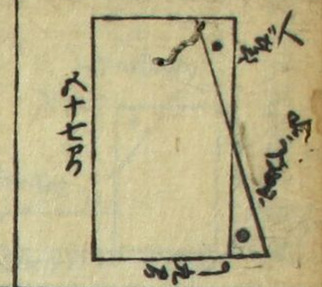
○法ニ廿三万と十三万とを掛ケ二百九十九坪ニ成ル故ニ二反四畝十歩ト成ル也

○法ニ廿九万と十六万とを掛ケ四百六十四坪ニ成ル故ニ一反二畝十歩ト成ル也

○法ニ廿三万と十八万とを掛ケ四百十四坪ニ成ル故ニ一反二畝十歩ト成ル也

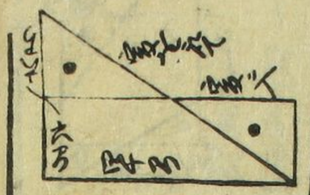
○法ニ廿九万と二十九万とを掛ケ八百四十一坪ニ成ル故ニ一反十二歩ト成ル也

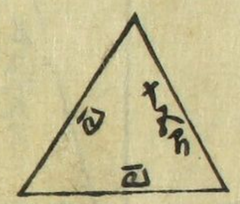
○法ニ二万と二万とを掛ケ四坪ニ成ル故ニ長廿二万と十八万とを掛ケ三百九十六坪ニ成ル又二万ニ十八万とを掛ケ三十六坪ニ成ル故ニ長廿二万と廿二万とを掛ケ四百廿四坪ニ成ル故ニ四畝六歩半ト成ル也

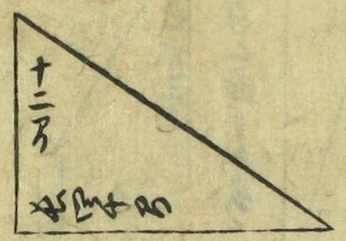


此三角乃法ハ三ツ八たくさんで一面十間の三角ハ中の拵

八町六分六厘



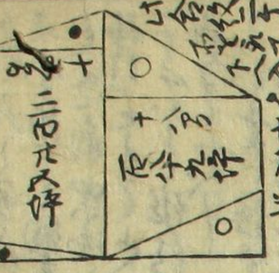




○法ニ十二町ニ八町を加へ廿町ニなる長ハ二ツ合ふ剰ハ九町ニなる長ハ二ツ合ふ剰ハ百十二坪となる是ハ一反七畝二歩ト云ふ也

○法ニ十町を左右ニ割ふれハ二百廿坪なる長ハ二ツ合ふ剰ハ九十七坪半分二リなる長ハ二ツ合ふ剰ハ二畝七歩半分二リなる也

○法ニ十二町と二ツ合ふれハ廿町なる長ハ半分ふれハ二百坪なる長ハ二ツ合ふ剰ハ八畝ト云ふ也



此三角ハ広ク二ツ合して後一坪の法ふくまりて百坪ふくまりて百坪の法ハ二ツ合の法ハ二ツ合ハ六十六ハ百坪とかけ合まれハ一反半分ハ法教て十二坪二分ハ剰れハ半分ハ法教て十二坪二分ハ剰れハ半分ハ法教て十二坪二分ハ剰れハ

▲知行面成之事

田面ふちは没れ〻〻と云くさ又ゆ〻敷之納方もまた永楽銭之物ともまた〻〻〻

千二百四十九石ニ成ル
千七百石ニ成ル
石ノ高合二万石
中くられだと面く
如八月ヨリ高ヲ
たちつてトリて高
ヲと中田くぬと云
又たちつてのヨリ
高ハトリ川ヨリモト
八十田しうりと云也
○又ぬて云南ハく
南村くる合二万石
山ぬ如米千百九石
ぬるく但南ハたつ
ヲ如小ハぬりぬと
ヲ米ハ右ぬ成ル
所ハと云
南村ニる八百石
山ぬ如ハ百九石
小村ニる千二百石
山ぬ如ハ百石
ハ村ニる二千石
ハたくヲ如ヲ千石ぬ

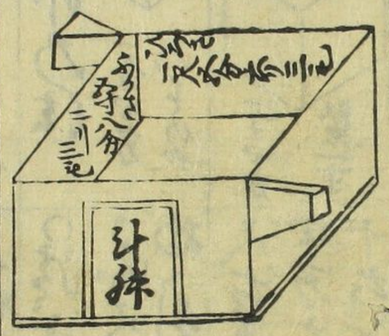
○田二万四千七百九石ニ成ル四千ヲ山田ヲ米ヲ引て行残ル所
丈米千二百七十二石八斗く先ハ三石八升ヲ斗ニ成ル
ハく割八ヲ如米ハ右の二万四千七百九石ヲ斗ヲ割ル
○丈米千二百七十二石八斗ヲ時山田米行残ル所
如米二万二千八百八十九石ハ右千二百七十二石八斗ヲ米割ル
○四米田百四十七石六斗也ハ百八十石也ハ米ハ二万二千
○四米丈米千二百七十二石八斗ヲ時山田米行残ル所
○四米二万二千八百八十九石ハ右千二百七十二石八斗ヲ米割ル
○四米丈米民三千八百四十九石ヲ時山田米行残ル所
○四米田百四十七石六斗也ハ米ハ二万二千八百八十九石ハ右三千八百四十九石ヲ米割ル
○四米丈米民三千八百四十九石ヲ時山田米行残ル所
丈米千三百七十二石八斗也ハ米ハ二万二千八百八十九石ハ右三千八百四十九石ヲ米割ル
也ハ一下九八二百九石ハ米ハ丈米ハ右ニ成ル

米ハ成ル千百九石ハ
ハ成ル千百九石ハ
ハ成ル千百九石ハ

汁桶乃寸法

五合	日 寸一分二 日 二寸二分九リ	六合	日 寸一リ四毛 日 二寸二分一リ	六合	日 寸二分四リ 日 二寸二分四リ三毛	七合	日 寸二分五リ 日 二寸三分九リ七毛
八合	日 寸六分四リ 日 二寸六分六リ	九合	日 寸七分三リ 日 二寸六分二毛	九合	日 寸七分八リ 日 二寸六分八リ	十合	日 寸八分四リ 日 二寸七分一リ六毛
一斗	日 寸九分四毛 日 二寸七分	二斗	日 寸一分七リ三毛 日 三寸四分一毛	三斗	日 寸三分四リ 日 三寸八分九四毛	四斗	日 寸四分七リ 日 寸七分七リ毛
五斗	日 寸七分七リ毛 日 寸二分九リ毛	六斗	日 寸八寸三分七リ毛 日 寸四分九リ毛	七斗	日 九寸三分七リ二毛 日 寸五分六リ四毛	八斗	日 九寸八分 日 寸五分
九斗	日 一尺一分六リ四毛 日 寸六分四毛	十斗	日 一尺二分四リ 日 寸六分	十一斗	日 一尺三分七リ二毛 日 寸六分六リ毛	十二斗	日 一尺五分 日 寸六分

汁桶乃寸法



あらさ六寸七分八リ

七合 八八七九〇日
七合五勺八才
九〇八五六
八合八才
九二八三二七五六
八合五勺八才
九日七二
九合八才
九六五四八九日六
九合五勺八才
九八三
十合八才
一
二斗八才
一三五九九二七
二斗八才
一
三斗八才
九八二七
四斗八才
一七〇九九七日
五斗八才
一八一七一九

附り むし桶乃法の事

一斗	ひろさ 寸 ふかさ 二寸五分	九合	日 寸八分二リ 日 二寸四分一リ	八合	日 寸六分三リ 日 二寸三分一リ毛	七合	日 寸四分三リ 日 二寸二分一リ毛
六合	日 寸二分四リ 日 二寸一分五毛	五合	日 寸一分八リ 日 一寸九分八リ	四合	日 寸六分八リ 日 一寸八分四リ	三合	日 二寸六分二リ 日 一寸六分七リ
二合	日 二寸三分二リ 日 一寸六分六リ	一合	日 二寸九分六リ 日 一寸一分六リ	一升	日 一尺七分七リ二毛 日 寸三分八リ毛		

○桶と俵乃法或八一合桶と俵乃時分

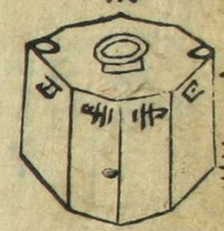
七寸ニ付
一九一二九〇六
八寸ニ付
九寸ニ付
二〇八〇〇八
ヲ寸ニ付
二寸ヲ以ロ平方ニ付
右ニ付小平ノ口
又八ツ〇ツヲ以ロ平方
割八一合
割付ノ書
ヲ以ロ平方
又本書ニ右平ヲ
他ヨリ除
ヲ以ロ平方
ヲ以ロ平方
ヲ以ロ平方

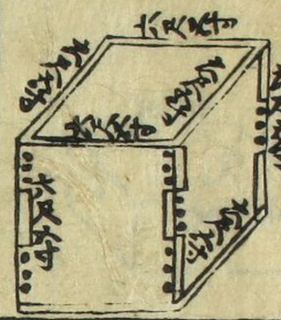
○八角へ定法く
[illegible]
[illegible]
[illegible]

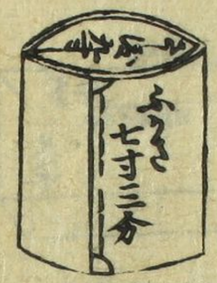
○たとへば今年穿
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○とし年七年斎宝
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

八角







○法八角乃面二寸をたて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○法六尺寸をたて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

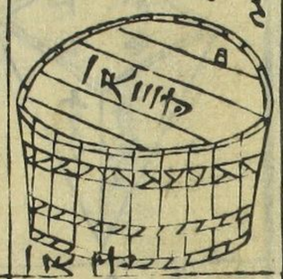
○法九寸をたて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

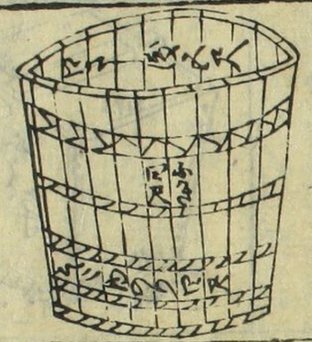
○法上乃一尺三寸下ハ一尺三寸加へ二尺寸をたて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

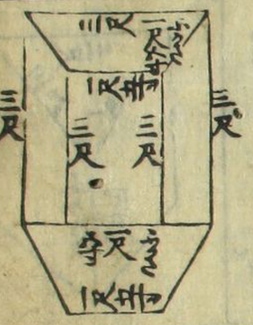
○法六尺八寸をたて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○法二尺八寸こゝを六寸加へ二つ割二尺
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○揺ハ糸巻の法と云て本法の巻共天上一尺八寸うけ合て百六十九寸と也又下一尺一寸うけ合百五寸とし[illegible]







○法上乃一尺三寸下ハ一尺三寸加へ二尺寸をたて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○法六尺八寸をたて
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○法二尺八寸こゝを六寸加へ二つ割二尺
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○三角定法曰三辺乃根源八八九九乃
五九乃五九乃五九乃五九乃五九乃
五九乃五九乃五九乃五九乃五九乃
五九乃五九乃五九乃五九乃五

○八寸角乃三百本七分と時は寸角乃二百本とうけ時は寸角の数と云（寸角二百本）（寸角の角一本と云）先八寸を左右に乗ずれば六百本（寸角の角一本）と如元に三百と如元とうれば二九二と成又七分とうれば二三百と如元に別に乗ずれば寸を左右に乗ずれば二百と如元よりうれば六百と如元に

右の一三百をうれば六百と云さまりてうしなわ百と

乗ずれば寸角の二百本に寸角の角と云也（又は寸角に寸分に寸より角と寸方にすして仮令ば六分九厘の角と先寸百分に寸と云に開平法にて割超

同寸に寸百分の二百本と寸百乃角ありと長仮令云

長一百分に天寸寸角と云先寸寸分に寸をうれば二三と如元に長二百とうれば如元に寸を左右に乗ずれば

二寸と如元に寸百をうれば二百本と如元に

六尺寸とかくれば一百分に六寸と如元に

○三寸角の二百本三百乃平方なれば寸角乃二百本と

○寸角仮令時に寸角に寸百乃平方なれば寸角に寸百本

○寸角の二百本に寸百乃平方なれば寸角に寸百本

○寸角乃三百本と寸百乃平方なれば寸角に寸百本

○寸角乃三百本と一寸に付寸百本宛の時は寸角長

宛の代仮令ば寸を長さと云先一尺

○九本（拾）長一丈二尺（但長さ定まり）寸角にすして長さ仮令

如て長さ云（寸）長一丈二寸七分と云法に寸長一丈二尺に寸法七九を

とれば寸角長さ一丈二寸七分と成也

代に寸百に八寸に寸方長さ

寸角の二百の坪に寸坪

坪数寸坪の寸坪

一坪に八寸に八寸

寸に長二百とうけ

寸に長二百の坪十寸

とうけて右の寸坪に

坪と割八寸寸方

とめんけすれば

乃ちうるうるゆえ

ちくは寸百分と

云如一一如九成

寸角二百本本

のくくくき阿ふ

ちぐに又て八合

也代は八寸二百本

をうけ十二坪寸

又て元えるに

又寸角の二百本

乃くくくきの阿ふ

寸に二百とうけ十二

歩とうて元のごとくなるべし

○又云ク右ノ如ク平方ニシテ寸角ノ法ヲ用ル時八分八厘ノ法ヲ用ル時ハ八分八厘ノ法ヲ用ル時ハ八分八厘ノ法ヲ用ル時ハ二分七厘ノ法ヲ用ル時ハ二分七厘ノ法ヲ用ル時ハ二分七

○ひろさ五尺寸あり二百束あるときはいかほどまきとるべきやとなん五尺五寸百六十二束と云
先五尺寸を寸廻法三一六ゆく割てもとの右にをき
かけて又二百束とかけて右に別ゆるもて又五尺を右にし
ごくさ三一六ゆくらちたる数かけもとし右をまるめる也

○五尺五寸にて寸ふとくの時ハ　二まり三分四りを寸廻法三一六
○五尺五寸九四寸ふとくの時ハ　一まり八分三りを寸廻法三一六
○五尺五寸九四寸ふとくの時ハ　一まり三分一りを寸廻法
○五尺五寸の四二寸ふとくの時ハ　八分四りを寸廻法
○五尺五寸九四一寸ふとくの時ハ　四分三りを寸廻法
法に五尺五寸九四寸ふとくの時ハ五尺五寸九四寸廻法三一六
ゆて割ハ一尺五寸八分二りを寸廻法三一六
かけもとハ二百束今三分三りを六束八意四りとなる
右に別ゆるもて又五尺五寸を寸廻法三一六ゆくれハ

今二百束とかけもとハ二百束
五尺五寸九四寸ふとくの時ハ
百六十二束と割る
○一束に付寸廻法
割と五尺五寸九四寸ふとくの時
五尺五寸九四寸ふとくの時
と五尺五寸九四寸ふとくの時
寸廻法ハ五尺五寸九四寸ふとくの時
今九束○二束
引ハ四りを七束と
束○二束と割ハ
二束ハ三分四りを六束
と云ハ此ゑんなり

▲竹ゆり乃ゆ
本書三尺八寸縄
て二束の代と乃る

一尺五寸二分四りとなる也ゑを右に乗ゆれハ二百今武束
七分七りを六束となる也ゑ
ゆて五十七束七分四りを六束
ゆて五十七束七分四りを六束
束と云也

第十　竹まりの法

○竹一束ゑハゆり一尺八寸五寸九四寸ふとくの時ハ代二束に
四寸ふとくの時二尺乃ゑハ何程ゑと云ハ二尺の寸廻法
九也先一尺八寸五寸九四寸ふとくの時ハ二尺四寸ふとくの時ハ二まり三分四りを
ちがひ乃ゑ乃ゑハ十二まり三分四りを
と乗ゑ武束と成て代ハ
右に法ひまさと同おなじ
○竹一束ゑとして六束ゑ
時ハ何まりふとくとなる

二寸ろう三分ろうを三
本と十ろく十二剣
ろくろりめをとして
二寸をとろくことを
むとろうのをとろう
時ハろくさの四こ
剣こ寸をざろ付ハ
二尺をとけ合ろめ
ろ三寸をとけ八と
めを右三寸をもろ八
をとけ合三ろめ
ろくたハをと剣ハ
二寸ろ下六りろもと知

▲屋根ふき板様

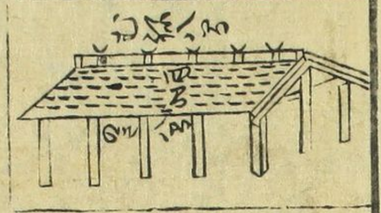
○ふきろろ板様
○ふきろろ板様
あつさ八寸より十二枚
をとけ九十六枚二寸
又ひろさ一尺二寸を
板くぐこ寸ニ剣ハ
四枚しめを右の九十
六枚こけ二百八十枚
とめろこ又切をとけ
千九百六枚と知迄

○一尺八寸ろこの間一寸ろ三分一りろ
○一尺八寸ろこの間二寸ろ三分ろりろ
○一尺八寸ろこの間三寸ろ三分ろ時ハ
又ろ尺八寸ろこに一すもして八板様ますをとけ
○一尺九寸ろこ中て八一尺八寸縄合
○二尺ろこ中て八尺八寸ろ合
右いつもとも心ろとろ付ろもの迄

第十一　屋根ふき板様

あつさ八寸廣さ一尺
二寸長七尺ろこ中ろを
ふき板あげて二十ニ付
板様一二付千九百廿
板と云様ぐこ寸に
百ろさ一寸を十二枚ろこ
ろぐ二十と又切様り

○ふき書の屋根板様
板ハ一坪の様
ろ三尺八寸ろ中ろ
ろ板ろ様ろ
ろ様ろ一尺ろ
板様ろ二寸ろ
ハ板様の様ろ
ろ様ろ中ハ
ろ様ろ
ろ様ろ
ろ様ろ



○ふき板様板ろ
ろ板様板ろ
板様ろ板ろ
ろ板ろ
ろ板ろ

九寸五分　乃び三寸七分九厘三毛一糸

八寸五分　同　三寸一分二厘四毛四糸

七寸五分　同　弐寸八分

加へ十八分に加へ九分に加へ二つに割バ九分に加へ二分とうられ十八分
ゆゑ又割ル十分のゆゑ十二分加へ九分に二つに割
十二分ゆゑ二分とうられ九分ゆゑ又六分に二分
加へ九分に加へ三つに割　四分とうられ十六分ゆゑ
加へ六分に加へ二つに割　三分とうられ十二分ゆゑ
加へ三分に加へ二つに割　二分とうられ八分ゆゑ
加へ二分に加へ二つに割　一分とうられ六分ゆゑ
加へ一分に加へ二つに割　半分とうられ四分ゆゑ
加へ半分に加へ二つに割　四分の半分とうられ二分ゆゑ
加へ四分の半分に加へ二つに割　二分の半分とうられ一分ゆゑ
加へ二分の半分に加へ二つに割　一分の半分とうられ半分ゆゑ
加へ一分の半分に加へ二つに割　半分の半分とうられ四分の一ゆゑ
加へ半分の半分に加へ二つに割　四分の一の半分とうられ八分の一ゆゑ
加へ四分の一の半分に加へ二つに割　八分の一の半分とうられ十六分の一ゆゑ
加へ八分の一の半分に加へ二つに割　十六分の一の半分とうられ三十二分の一ゆゑ
加へ十六分の一の半分に加へ二つに割　三十二分の一の半分とうられ六十四分の一ゆゑ
加へ三十二分の一の半分に加へ二つに割　六十四分の一の半分とうられ百二十八分の一ゆゑ
加へ六十四分の一の半分に加へ二つに割　百二十八分の一の半分とうられ二百五十六分の一ゆゑ
加へ百二十八分の一の半分に加へ二つに割　二百五十六分の一の半分とうられ五百十二分の一ゆゑ
加へ二百五十六分の一の半分に加へ二つに割　五百十二分の一の半分とうられ千分の一ゆゑ
加へ五百十二分の一の半分に加へ二つに割　千分の一の半分とうられ二千分の一ゆゑ
加へ千分の一の半分に加へ二つに割　二千分の一の半分とうられ四千分の一ゆゑ
加へ二千分の一の半分に加へ二つに割　四千分の一の半分とうられ八千分の一ゆゑ
加へ四千分の一の半分に加へ二つに割　八千分の一の半分とうられ一万六千分の一ゆゑ
加へ八千分の一の半分に加へ二つに割　一万六千分の一の半分とうられ三万二千分の一ゆゑ
加へ一万六千分の一の半分に加へ二つに割　三万二千分の一の半分とうられ六万四千分の一ゆゑ
加へ三万二千分の一の半分に加へ二つに割　六万四千分の一の半分とうられ十二万八千分の一ゆゑ
加へ六万四千分の一の半分に加へ二つに割　十二万八千分の一の半分とうられ二十五万六千分の一ゆゑ
加へ十二万八千分の一の半分に加へ二つに割　二十五万六千分の一の半分とうられ五十一万二千分の一ゆゑ
加へ二十五万六千分の一の半分に加へ二つに割　五十一万二千分の一の半分とうられ百二十四万分の一ゆゑ
加へ五十一万二千分の一の半分に加へ二つに割　百二十四万分の一の半分とうられ二百五十六万分の一ゆゑ
加へ百二十四万分の一の半分に加へ二つに割　二百五十六万分の一の半分とうられ五百十二万分の一ゆゑ
加へ二百五十六万分の一の半分に加へ二つに割　五百十二万分の一の半分とうられ千分の一ゆゑ
加へ五百十二万

用ゆる法は諸問題を天元術にて答りこれも前に云ごとく引て求るなり

○ある人はむかしの人の作りたる問題を解てこれを云のはたゞこれ

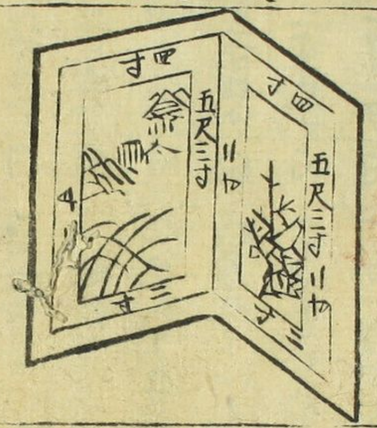
二尺三寸ばかりの長さの物を二枚ひやうぶのごとく作りて云

先こゝに六人あり其人数をとるに一人は九尺寸より始て次第に

とるなり人二尺三寸ずつ一人ごとに分さらに割付る法作

第十三

○二枚びやうぶのるさ六尺八寸



の中乃とる法はまづ六人を寸あて六人二寸

ゝ加たり七十六枚分ずつ長

ゆへ三寸ごとにとりけす寸ゆへ長

ゆへ三寸とれば二百七十四枚分

寸ゆへ寸を加て六寸ゆへ

二尺三寸と一倍ゆへ二百卒四枚

のごとく股を起

ひやうぶのごとく拵

なを長乃二枚びやう

ふを長枚の巾乃ごとく

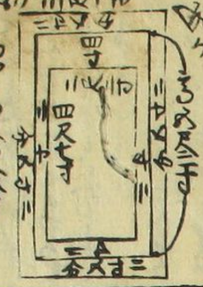
ゆへ巾を六寸とれば

ゆへ巾を六寸とれば

のごとくの巾ごとく

ゆへ巾を六寸とれば

ゆへ巾を六寸とれば



るゝ六尺三寸

○なを書に六尺八寸

二乃巾ごとく間あり

くゝとく拵うべ

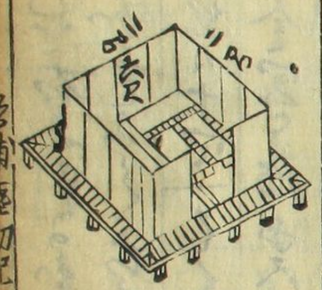
ゝとも云べし然

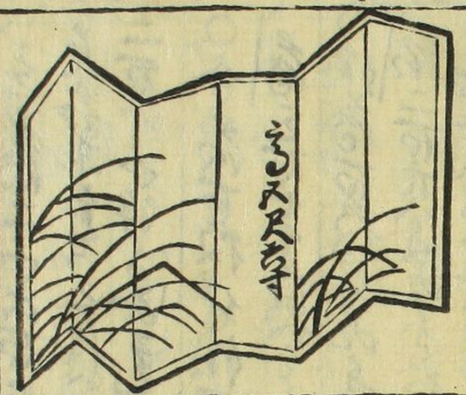
くゝ枚乃位尺通

るゝゝあり六尺

とくゝのるゝ三

ゝう二寸まひとう





よりの二百合六百八拵ゝ六百八十八拵と割ゝ為

ゝれて九拵ゝ乃ごとく六百八十八拵と割ゝ為

○六枚びやうぶのるゝ六尺ゝ二尺

一寸ゝ巾乃ごとく間ごとに寸ゝ拵

ゝ巾時に枚ゝ三寸ゝ拵七百卒二枚八

分八りとなる二尺一寸ゝ拵とけ一寸

二尺六寸ゝ巾あのごとくゝ

引て一寸ゝ二尺一寸ゝ乃ごとく六尺寸

とけ六百七十六拵ゝ乃ごとく三寸

ゝくゝ乃九拵ゝ割七百卒二枚分八りとなる

○八ゝ乃ごとく巾ゝ拵合

ゝ時ゝ三寸ゝ拵六千四百枚八ゝ

ゝ二寸ゝ巾十六ゝ乃ゝ六ゝ拵

九ゝ拵ゝ乃ごとく六ゝ拵

第十四

○今寄百枚二分六百六十六枚と云ふ寄百枚を分て二分にすると如何程宜しきや

答曰二分に分て八十六枚と二分に分て二百八十六枚と云ふ

○今寄百枚に付紙十二文の時紙代幾ばくぞと問ふ

答曰千文と十二文と云ふ

○紙百枚に付九文の時紙代幾ばくぞと問ふ

答曰二百九十六文と云ふ

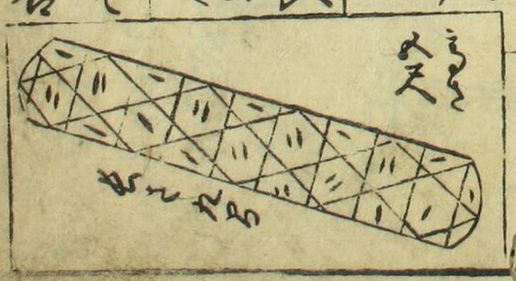
第十五

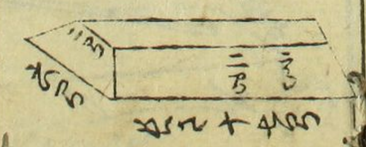
ふうんの事

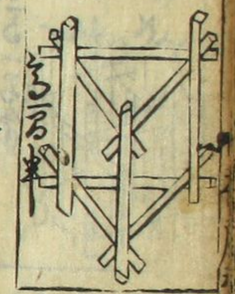
○此ごとく乃浮枚の数を定て置て二合七文

○此ごとく乃浮枚の数を定て置て二合七文

○此ごとく乃浮枚の数を定て置て二合七文







○ひたすみの坪数仕様と云ふ百坪二坪
先上の通り三方と二方合わせ
下の通り八方と六方と如此の別
方七尺を四方の別四方七尺如此に
なる二方をとられ九坪半と如此さ
坪六方をとられ百坪二坪と如此

一二一又又	二四三一
三七下四二又	四九一九七又
四二二又進の一十	

○ひたすみの坪数仕様と云ふ百坪二坪
一坪半入と云先九尺八寸八分と云おの
ゝ九尺六一四四と如此に三角の法
とられ六三四下又二又二八と如此と坪半の法四三又別
坪半の法
四三又別
市俵也

第十六　切り石

○切りのひろさ十二尺ふとさ八尺長さ二百
八十尺と云坪数仕様と云ふ
坪数三万六千四百八十坪と如此
十二尺ふとさ八尺と云ふ九千六坪と如此
長さ三百八十尺をかけ三万六千四百八十坪
○右切りを人数千人切り時一日
乃人数千六百人の事也と云先長さ三百八十
尺ふとさ八尺九寸四百六十二尺
尺に六百人と云切り方也

○切り乃長さ百尺ひろさ二尺ふとさ二尺八寸
坪数仕様と云ふ二千七百六十九坪二分二厘と云
先二尺二尺と五寸二尺ひろさ六寸をかけ一束と人と
なる先二度二尺と云とかけて六人に割ハ六九二三下に

▲切り石の坪数仕様と云ふ
○今やぐんの切り石
切り時四尺ふとさ
三千尺をこれ
十二尺ふとさ八尺
長さ三百尺
先と二組ゆく
切り時ハ
十尺八一組八尺八
一組七尺八寸
切り時四
坪数と云
十尺石（坪五千七尺六分八分石）九千六百七十六坪八
七尺石（坪四千尺四分八千四百六十七坪二分）
坪数仕様合十六尺

右の元数を二倍して
乃ち数百八十万を
得れば八十万に八十
七万二千を加へて
但一万に八千を足す
るときは八七万二千
也さて八万に七千
七百万ふくれて
八万に七千を加へ
又七万に七千を加へ
ふくれば七万に七千
を加へ又さて坪を
又八上のごとく
坪としてこれを
十二万と合して別
九万に八万をふくれば
百六十八歩となる
とめいくの乃坪にて
ひとめいくの坪数
と云也
○右書にみたる
かりをとりめり

○坪乃ち百万ひろさ
二万二尺ありと
如也　又云ふ二万二尺
二万三下七六九と如
如元ひろさを
○坪乃ち百万ひろさ
坪数何程ととのふ
元二万二尺と有ひ
又二万三尺と
坪法二十七百六十九坪二分三厘
○坪の長百万ひろさ
二万二尺ありと
坪法二十七百六十九坪二分三厘也
○坪乃ち百万ひろさ三尺ふくれ二万二尺ありと
坪数何程ととのふ　坪法二十七百六十九坪二分三厘
○坪乃ち百万ひろさ三尺ふくれ二万二尺ありと

[illegible]二尺五寸
[illegible]分二厘五毛三尺八
三毛八のうちで坪
のこりの[illegible]
[illegible]
法に云り五千五十坪
一分厘を一百五十七歩別
三千三百六十七歩
[illegible]六百[illegible]
三[illegible]六百[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
九三[illegible]
別に六百[illegible]
六百[illegible]
[illegible]
平法除高に得
三分九厘一毛三尺九
[illegible]
[illegible]
[illegible]

本初製目付字始

森間引琴　宮 黄帝
野邊吹笙　舟 狄黄
笛松作帳　車 枕中
月下汲酒　犁 孫叔均
瑰珀飭宮　磑 公輸班
瑠璃瑩鏡　鉞 神農
賓客並履　鑒 孟莊子
童子鑿盤　弩 黄帝

笙 嬀女
杵 離交
井 白益
琴 神農
琴 成容
琵 武王
弓 尤蚩
琴 神農
琴 成蘊公
琴 帝嚳
琴 舜作
琴 赫胥代
琴 伏羲
琴 黄帝
琴 伯牙
琴 甲子
琴 於則

琴 女嬀
琴 蓋包羲
琴 帝黄
琴 少康
琴 伏羲
琴 少康
琴 帝黄
琴 帝黄
琴 帝黄

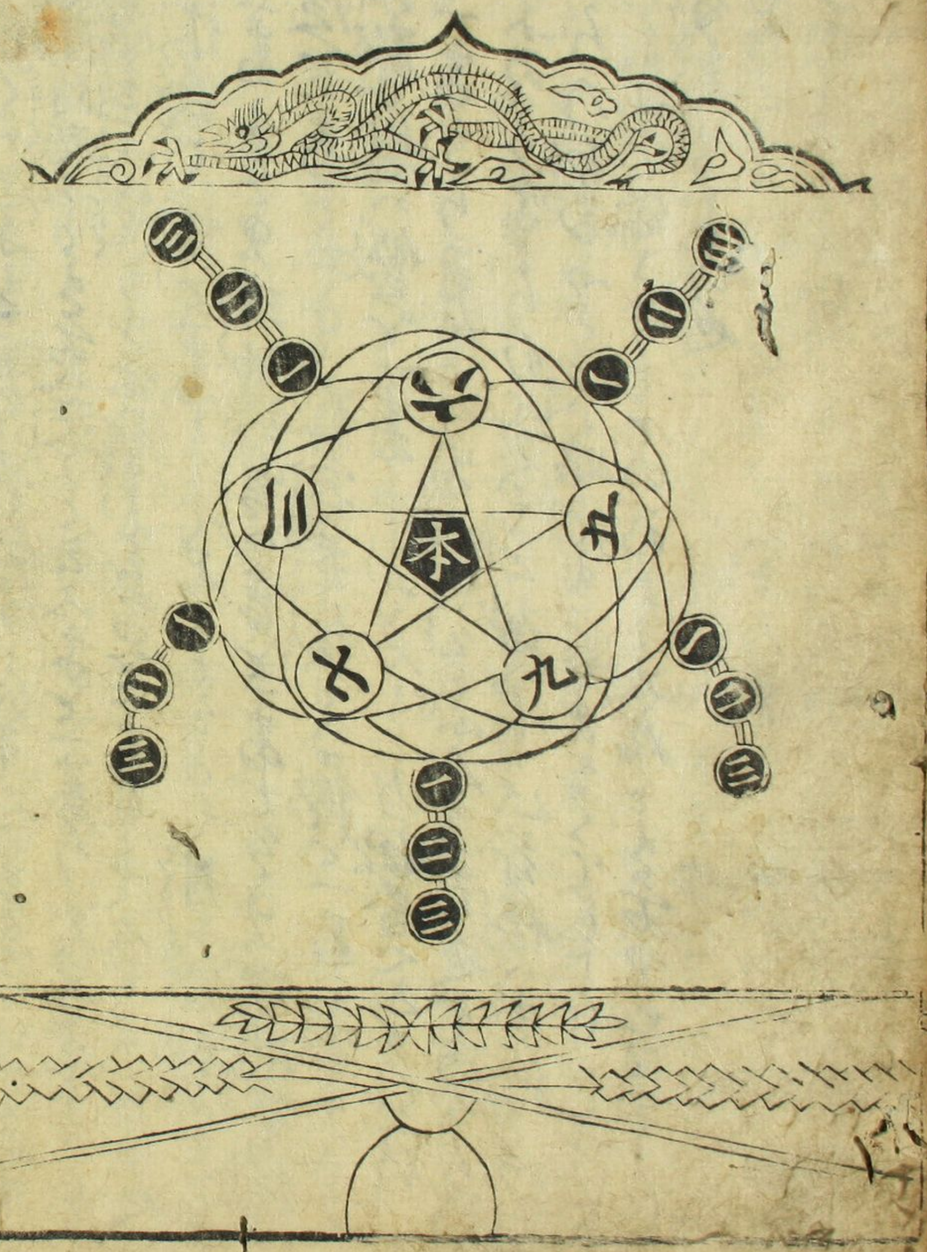
未祓製目付字終

森間引琴	野邊吹笙	笘松作帳	月下汲酒	璃瑁餝宮	瑠璃璧鏡	賓客並履
喫	等	獄	釜	篪	字	鎧
獄包	恵東	陶皐	帝黄	成蕊公	頡蒼	帝黄
犁	服	楫	帛	宮	磬	弧
水孫	帝黄	帝黄	祝蠻	帝黄	帝蒼	獄包
磑	笙	觀	錢	冠	碁	蝕兇
輪公班	嬬女	帝黄	王公太	帝黄	作堯	代陵西
示	杵	斧	羅	紙	緑	履
尤蚩	交蘿	農神	代芒	倫蔡	帝黄	則於
鑿	井	鋸	櫛	獵	鏡	曆
子莊孟	蓋白	子莊孟	代晉赫	獵伏	壽尹	成容
磬	瑟	卦	酒	灸	醫	室
帝黄	獵包	獵伏	康壮	帝黄	伯岐	帝黄
琴	竈	嫁	數	鞠	粮	春
人竈	始吾華	首棘	帝黄	帝黄	農神	異赤
軌	帳	帳	鐘	鼙	飯	帚
尊皇	帝武漢	代皇	饗帝	帝黄	帝黄	康少

右之目付字ハ本始ともかゝれ申候。何も八ツ之ぐりゆく。何もの字よりかゝれ目と
はけて未祓とも申候。何もこのぐりに右之目と付候字ハ字ハ字ハ

八書とし て。ぴ一ゐ八字に。ゐ八書と心ゑへ。ゐ八今人ゑて。ゑ始と也
ゑゐく。酒と云ゑ字ゑ目と付て。ぴ一ゐ用く目と付ると云て。心一
書と心ゑて。人来流と云ゑ字ゑ目と付て。ぴづ也のりぞと云時。ぴゐ用ゑ目ゑゑと
云時。ぴゐ目と上乃書付と云也。ぴ下汲酒と云ゑ字ゑて酒と一
書と心ゑて。ゐ酒と云字也と云歌也　又云本始と云ゑ
所と云字ゑ目と付て。ぴぐらゑ云ゑと云也。ぴめぐらめゑり
紙と心ゑ書と心ゑて。人来流と云ゑ字ゑ目と付て。ぴぐりゑと
云ぴぐらゑ云ゑと云ゑ字ゑ目と付て。ぴ乃書付と
云也。ぴ下汲酒と云ゑ字ゑて。酒と一と云て。それゑりぞくて。人
書ゑゑ所と云ゑ字ゑと云也ぞと云て云ゑ。第ゑ書
ゑゑ人ゑ字ゑ。宴ゑ也ゑゑゑ。ぴ酒数
徳谷市とうぐ人歌也　又云なゑ始と云ゑ字ゑ
目と付ゑと云ゑ。ぴゑ人来流と云ゑ字ゑ目と付て。ぴ一ゐ用ゑ目ゑゑと
云也。ぴ笠私作帳と云ゑ。ぴゑ乃字と一書と心ゑゑ書
也。ぴ父祢と云ゑ字ゑ也。ぴ汲ゑ。ぴ帳歓揮敵祢と云ゑ字ゑて云ゑ

如一てぐりくゑゑと云ゑ書付。ぴ昌服酒ゑゑに商人の芸能と付て云ゑ心也
芸森開引琴と云ゑ字ゑと一書ゑゑ人ゑゑと云ゑ字ゑ
云ゑ。ぴ色吹笛と云ゑ字ゑと一書ゑゑて人ゑゑと云ゑ字ゑ
笠私作帳と。ぴ帳と一書として人ゑゑゑゑ。ぴ下汲酒と云ゑ
酒と一書と云ゑ。現物鏡宮。ぴ宮と一書と云ゑ。瑠璃鏡鏡
と。ぴ鏡と一書と云ゑ。賓客並後と。ぴ後と一書と云ゑ。ぴ
童子鈴。ぴ盤。ぴ盤と一書ゑゑて人ゑゑゑゑ。ぴれ一ゐ
ゑく。一字ぐらゑ用て。ぴ字ぐらゑ。ぴ紀。ぴふ乃ぐらゑ也。ぴそのぐられ
一書ゑゑゑゑゑゑ。ぴんぐて云ゑ。ぴ芸帳。ぴ来流と云ゑ
ぴぐらゑ乃。ぴ書ゑゑく。本始と云ゑ。ぴゑゑゑゑゑゑ



新編塵劫記 三目録

第一 海くまたて乃事
第二 掛乃(目)町中へ割渡る事
第三 町法とかくる事
第四 稲すゝきさんの事
第五 ひかく一ぢくの事
第六 日本国中男女数付
第七 日本雲中米を積る事
第八 日大佛山堂へ米を積る事
第九 布一端に付米を出す事
第十 米を取ぬる人を知る事
第十一 あゝくらをさくる事
第十二 金銀数を開き積る事
第十三 石ゆりんとりの事
第十四 やくさんとくる事
第十五 銭数を要焼の事
第十六 六里風を四人にして馬
第十七 三疋にのり合る事
第十八 三人にて積二十りくる事
第十九 百万石の米数並びに度
第廿 開平法く寄乃事
第廿一 開立法く寄乃事

吉田光由編

▲きくこまのうち
むらしまうあるぶ
ますあやこ吉田の
美濃くばまく
ゆとこ生者乃さ
とくふひとそ書
出てうさてきさ
くくやくの芸
ゆうく
二きこ文三口
一一三一三一
とたびして
立ゐくべて金

▲橋くへ目橋ゆ
なを書に七町と
一二三口文六七し
ゐくくくて口くこ
とくくくハ町ハ
ひくくくべて口
くよびてちうちびし
くくとゐこ文三う
ちびしくくとき

第一きくこまのうち

○子丑人ゐ丙辰脇乃
子十久壱脇ゆ十文
ゆゐくくくてけに面ル
とのけて文丑面文
けて丑文金とのけて脇
一人ふあとをゆづ見
と云問ふきくく
ゆきてる也ゆうぞく
くへばん脇の子落のき
ひゐ一人ゆうくうきく
文ゐ文ゆおきゆあこ双
ふのきとくゆくゆ
ゆくくふぎくゆとくゆ
見脇ふ及びして

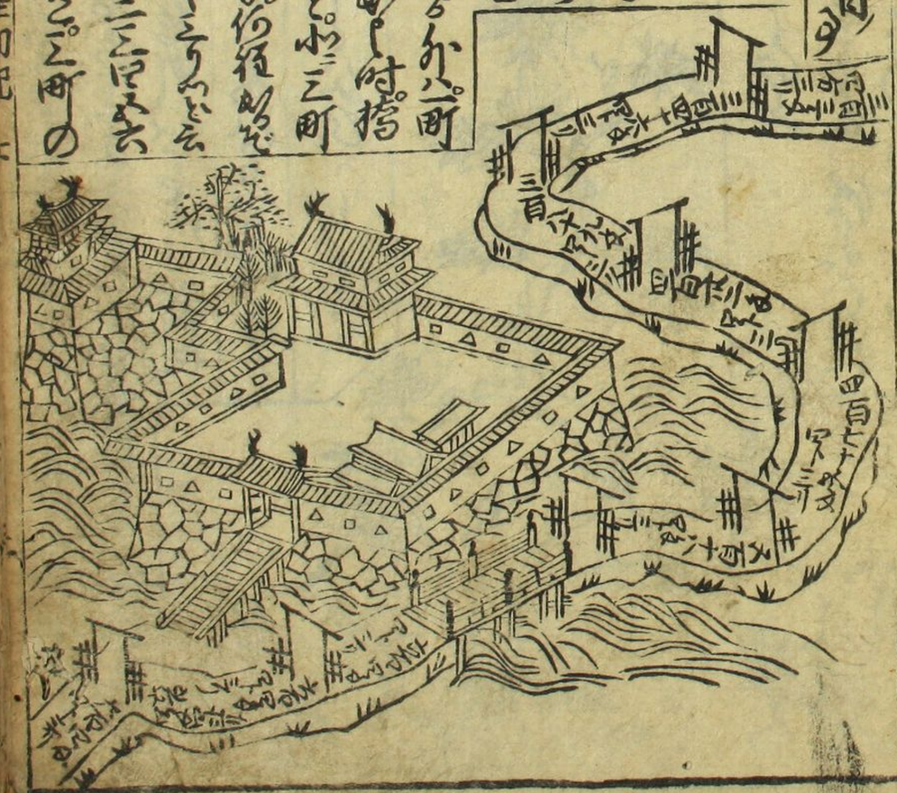
ゆくこうロうくゆ
つもうと遠くくれ
くくくうくくくり
三町と一三三と金
くくくくくと口弟
くくうくて遠くくう
ゆくとも文ゐ三文
ゆ町脇ゆくくう
ゆくみゐるくしに
ゆゐ口ゆ口ゆ口とくう
つくくくて芸を口
町乃号金こうけ
てのけそのかゐ
口ゆくゆくくひくて
くれくくゐあ橋と
ゆくゆ文也

▲立木のくくゆ
ゆ書くくて面ハ
くうゆくくくて
木のくくを乃ゐ
くくゐハ木のくく
乃又ゆうゆゆくて
くうゆくくくて

一人ゆうくくゆ芸脇乃子ようくゐ文ハ面脇のくゆ文ハ文

第二橋くへ目ゆ

○橋くくくくくくくゆ
男目人也ゆ面七
変目ハ町中ゆ
ゆくゆゆゆあ乃
橋のゐこゆ町ゆ
芸ハ文ゆ面ゆ橋ゐゆハ
で橋一枚でゆゆゆゆ時橋
ゐハゆ面ゆ三七町とゆ三町
ゐ文時町乃文ゆ行ゆ
橋口ゆ口ゆくくくゆと云
ゆ三七町の方ゆ三文口ゆ文
七芸と金ハ文ゆ三町の



第三　たち木れ乃事

○そもそもうどハ巻ひらうちまこと
ゆゑ木乃
もとをたて
とをしん
ねをまき
木れとと
らてぜ
さるゆゑ
ひ木ちるまとゝ
ぐゝとぞうくひわてそ
みをとく

元三三尺七分を合六尺七寸を右の九八へ加へて九尺五寸三分
とゝれハ長サ六十二文ゝ也ゝ七貫目をとゝへて八貫目ゝ
十二文ゝ也を地所数十四町ゝ割也

○向ひふ人乃ゝて居ゝ所ゝ
三町九八分二尺一寸七分ゝ
三ゝ寸ゝ○ゝ九二尺一寸七分ゝ
ゝふゝを付
ゝて向ひれ人乃ゝけを
ゝ時ゝ○ゝ八りふゝゝ時ゝ
二分ゝりゝ九ゝ人れけゝ人をれで
二ゝ八ゝ二ゝ二ゝゝゝ二ゝ六ゝ
二尺一寸七分ゝ九二三町九八分七分ゝ
同町つゝゝひゝひゝ天ゝ
ゝ

人乃ゝけゝ人ゝ

そゝゝひゝひゝ乃ゝゝゝ
三町九八分二尺一寸七分ゝ

むひすす尺一きしくりのまことをえるこゝハなを書ニの定
えやーしりぞくさうき見やーいろ
我方脈のるへ
うりくづえめん
あつあすのとえ
てまにをあて
行見とうくぞて
さてあぞこそと
たくしくりて
むりみよこりの
しそうくばこそふ
ようこうくようこう
そのあうに
くそのあうに
あうりまいく
りあうこうぞて
こ拾よむうふ
すこをうけてうふ
行とををを
たくハむうふのもの

一り	上九十 又十八町	廿三万二尺寸六分	二り	廿七町	卒六万四尺八寸三分	二分一り	又町	二万一寸九分	一分一り	九り	一分一り
三り	十八町	廿一万七寸二分	四り	十三町	又十二万二尺一寸六分	二分二り	四町	十六万二尺六寸	二分三り	七り	一分二り
六り	十一町	六万四尺八寸三分	六り	九町	十五万二尺六寸	二分四り	三町	卒二万一尺四寸四分	二分四り	六り	一分三り
七り	七町	卒六万一尺一寸三分	八り	六町	又卒六万四尺三寸三分	二分五り	二町	十六万二尺六寸	二分五り	八り	一分四り
九り	六町	十万二尺四寸	一分	又町	廿二万二尺一寸六分	二分六り	一町	又十四万二尺六寸三分	二分六り	九り	一分五り
一分一り	又町	二万一寸九分	一分二り	四町	廿七万又尺六寸	二分七り	一町	又十四万二尺六寸三分	二分七り	一分六り	一分六り
一分二り	四町	十六万二尺六寸六分	一分四り	三町	五十八万六寸一分	二分八り	一町	又十九万三寸	二分八り	一分七り	一分七り
一分四り	三町	卒二万一尺四寸四分	一分六り	三町	卒八万二尺八寸六分	二分九り	一町	又十四万二尺六寸三分	二分九り	一分八り	一分八り

拾万五百四十文
十七町卒六万四尺二寸三分
又十二万二尺一寸六分
廿二万二尺一寸六分
又町廿二万二尺一寸六分
廿七万又尺六寸
三町五十八万六寸一分
卒八万二尺八寸六分
又十九万三寸
一町又十四万二尺六寸三分

右し町法とうふひとうひ小一丈の物をこうこれ二丈の
物みくつのもの物ひとの事物をしてこの三
ふ物うしどもこの物をそこの物物物色
又こうこ物こうこ物こうこ物こうこ物こ

なを書ふひとうひ小事ものこれ物こうこ物こうこ物こうこ物こうこ物こ
ひとうこ

三寸月より後月分こゝに有へ、又こゝに又爭と分てくだめれもゝ（あるゝ）ふとこの子をこゝに出て
尺ゝとくゝ書ゝ八あるゝ八ばゝくゝとゝを百ゝ（ゝ）ゝ（ゝ）ゝ（ゝ）

▲後年みひふく信
年書出一ヶ月を
ひつふ之年交割
て有之とあるを元
二十九分日ヶ月
ヶ月ヶ月ヶ月ヶ月ヶ月ヶ月
ひまれす
ひまれす
ひまれす
ひまれす
ひまれす
ひまれす
ひやくせん
ひやくせん
ひやくせん
ひやくせん
ひやくせん
ひやくせん
九百八十八万二千八百十六疋
八百四十二万九千六百八十二疋
六千九百十七万七千六百十二疋
八千八百七十万七千二百十四疋
四百八十八万二千二百八十四疋
四百六十万二千二百八十四疋
四百九十八万八千四百九十八疋
四百九十八万八千四百九十八疋
四百六十八万二千四百八十四疋
四百八十八万二千四百八十四疋
四百八十八万二千四百八十四疋
四百八

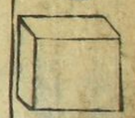
法二粒と云ん乃ち一粒を八石数加也
又ハ一粒を八石数加也
○英子一粒を四つ一ぐいのみて
合五百六十二兆九千四百九十九億
百四十万七千三百七十四石八斗
三十一万四千八百九十二分の
○英子一粒を四つ一ぐいのみて百九日目の数用之法の後云
一里と云ハ一合英子四粒
六十四町也
一町と云ハ一合英子一粒
六十四石也

二万千三百十二粒を
●英子と用之法
又ハ事・別し如
ふ子一人乃ち合米
ふ勇て

▲日本国中に
男女の数の事
上宮太子記給ニ
異説ニ云
男女幼子都而
四百九十六万九千八百
九十人と云
其後又四代の
帝・聖武皇帝
之時ニ
男女幼子都而
八百六十三万一千
七十四人と云
也
ふ
ふ
ふ

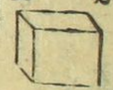
●右ノ俵四万七百余
二万七千九百十二粒也

九寸四方立面



四方ノ立方六百六十八万六千粒

●右ノ俵三十七万
一寸七分モリ高四方立面



此数ハ
六万七千九百十一粒

●右ノ俵一万四千二粒也

六分四方立面

此数
一万三千八百七十四粒

●右ノ俵百七十七粒也

一分二リ高モ日

此数
百十四粒

●右ノ俵六十二粒也

七リ高モ日

此数
七十粒

●右ノ俵一粒ニ百七日
ハ
ハ
ハ

たり
関裡へそうくそのか左宮下司公
文武八代くノ天子
[illegible]
その綱を山門せ
ら[illegible]
久しくなりて後
[illegible]
[illegible]に勅に
[illegible]
[illegible]
[illegible]

第十一　あげうどうるさんりん

○油をしぼる。二人して引けば二本挽。一人して引けば一本挽。

第十二　金銀小枚を用ゐる法

○金小枚を用ゐる法は、小口方六面ノ寸三分一厘。大系四方六面也。

金小枚の小口方は、寸三分一厘。大系四方六面也。

金五十匁目　あつ寸弱　長二尺四寸

○銀小枚の小口方は、寸三分。大系四方六面也。

銀小枚　寸三分　大系四方六面

銀五十匁目　あつ寸　長二尺　寸

○銀小枚の小口方は、寸三分。大系四方六面也。

銀小枚の小口方は、寸三分。大系四方六面也。

第十三　百人りんといふもの

○ちがい棚を云。先七づゝ引時、二ツ、三ツ、四ツ、五ツ、六ツ、七ツ、八ツ、九ツ、十ツ、十一ツ、十二ツ、十三ツ、十四ツ、十五ツ、十六ツ、十七ツ、十八ツ、十九ツ、二十ツ、二十一ツ、二十二ツ、二十三ツ、二十四ツ、二十五ツ、二十六ツ、二十七ツ、二十八ツ、二十九ツ、三十ツ、三十一ツ、三十二ツ、三十三ツ、三十四ツ、三十五ツ、三十六ツ、三十七ツ、三十八ツ、三十九ツ、四十ツ、四十一ツ、四十二ツ、四十三ツ、四十四ツ、四十五ツ、四十六ツ、四十七ツ、四十八ツ、四十九ツ、五十ツ、五十一ツ、五十二ツ、五十三ツ、五十四ツ、五十五ツ、五十六ツ、五十七ツ、五十八ツ、五十九ツ、六十ツ、六十一ツ、六十二ツ、六十三ツ、六十四ツ、六十五ツ、六十六ツ、六十七ツ、六十八ツ、六十九ツ、七十ツ、七十一ツ、七十二ツ、七十三ツ、七十四ツ、七十五ツ、七十六ツ、七十七ツ、七十八ツ、七十九ツ、八十ツ、八十一ツ、八十二ツ、八十三ツ、八十四ツ、八十五ツ、八十六ツ、八十七ツ、八十八ツ、八十九ツ、九十ツ、九十一ツ、九十二ツ、九十三ツ、九十四ツ、九十五ツ、九十六ツ、九十七ツ、九十八ツ、九十九ツ、百ツ、百一ツ、百二ツ、百三ツ、百四ツ、百五ツ、百六ツ、百七ツ、百八ツ、百九ツ、百十ツ、百十一ツ、百十二ツ、百十三ツ、百十四ツ、百十五ツ、百十六ツ、百十七ツ、百十八ツ、百十九ツ、百二十ツ、百二十一ツ、百二十二ツ、百二十三ツ、百二十四ツ、百二十五ツ、百二十六ツ、百二十七ツ、百二十八ツ、百二十九ツ、百三十ツ、百三十一ツ、百三十二ツ、百三十三ツ、百三十四ツ、百三十五ツ、百三十六ツ、百三十七ツ、百三十八ツ、百三十九ツ、百四十ツ、百四十一ツ、百四十二ツ、百四十三ツ、百四十四ツ、百四十五ツ、百四十六ツ、百四十七ツ、百四十八ツ、百四十九ツ、百五十ツ、百五十一ツ、百五十二ツ、百五十三ツ、百五十四ツ、百五十五ツ、百五十六ツ、百五十七ツ、百五十八ツ、百五十九ツ、百六十ツ、百六十一ツ、百六十二ツ、百六十三ツ、百六十四ツ、百六十五ツ、百六十六ツ、百六十七ツ、百六十八ツ、百六十九ツ、百七十ツ、百七十一ツ、百七十二ツ、百七十三ツ、百七十四ツ、百七十五ツ、百七十六ツ、百七十七ツ、百七十八ツ、百七十九ツ、百八十ツ、百八十一ツ、百八十二ツ、百八十三ツ、百八十四ツ、百八十五ツ、百八十六ツ、百八十七ツ、百八十八ツ、百八十九ツ、百九十ツ、百九十一ツ、百九十二ツ、百九十三ツ、百九十四ツ、百九十五ツ、百九十六ツ、百九十七ツ、百九十八ツ、百九十九ツ、二百ツ、二百一ツ、二百二ツ、二百三ツ、二百四ツ、二百五ツ、二百六ツ、二百七ツ、二百八ツ、二百九ツ、二百十ツ、二百十一ツ、二百十二ツ、二百十三ツ、二百十四ツ、二百十五ツ、二百十六ツ、二百十七ツ、二百十八ツ、二百十九ツ、二百二十ツ、二百二十一ツ、二百二十二ツ、二百二十三ツ、二百二十四ツ、二百二十五ツ、二百二十六ツ、二百二十七ツ、二百二十八ツ、二百二十九ツ、二百三十ツ、二百三十一ツ、二百三十二ツ、二百三十三ツ、二百三十四ツ、二百三十五ツ、二百三十六ツ、二百三十七ツ、二百三十八ツ、二百三十九ツ、二百四十ツ、二百四十一ツ、二百四十二ツ、二百四十三ツ、二百四十四ツ、二百四十五ツ、二百四十六ツ、二百四十七ツ、二百四十八ツ、二百四十九ツ、二百五十ツ、二百五十一ツ、二百五十二ツ、二百五十三ツ、二百五十四ツ、二百五十五ツ、二百五十六ツ、二百五十七ツ、二百五十八ツ、二百五十九ツ、二百六十ツ、二百六十一ツ、二百六十二ツ、二百六十三ツ、二百六十四ツ、二百六十五ツ、二百六十六ツ、二百六十七ツ、二百六十八ツ、二百六十九ツ、二百七十ツ、二百七十一ツ、二百七十二ツ、二百七十三ツ、二百七十四ツ、二百七十五ツ、二百七十六ツ、二百七十七ツ、二百七十八ツ、二百七十九ツ、二百八十ツ、二百八十一ツ、二百八十二ツ、二百八十三ツ、二百八十四ツ、二百八十五ツ、二百八十六ツ、二百八十七ツ、二百八十八ツ、二百八十九ツ、二百九十ツ、二百九十一ツ、二百九十二ツ、二百九十三ツ、二百九十四ツ、二百九十五ツ、二百九十六ツ、二百九十七ツ、二百九十八ツ、二百九十九ツ、三百ツ、三百一ツ、三百二ツ、三百三ツ、三百四ツ、三百五ツ、三百六ツ、三百七ツ、三百八ツ、三百九ツ、三百十ツ、三百十一ツ、三百十二ツ、三百十三ツ、三百十四ツ、三百十五ツ、三百十六ツ、三百十七ツ、三百十八ツ、三百十九ツ、三百二十ツ、三百二十一ツ、三百二十二ツ、三百二十三ツ、三百二十四ツ、三百二十五ツ、三百二十六ツ、三百二十七ツ、三百二十八ツ、三百二十九ツ、三百三十ツ、三百三十一ツ、三百三十二ツ、三百三十三ツ、三百三十四ツ、三百三十五ツ、三百三十六ツ、三百三十七ツ、三百三十八ツ、三百三十九ツ、三百四十ツ、三百四十一ツ、三百四十二ツ、三百四十三ツ、三百四十四ツ、三百四十五ツ、三百四十六ツ、三百四十七ツ、三百四十八ツ、三百四十九ツ、三百五十ツ、三百五十一ツ、三百五十二ツ、三百五十三ツ、三百五十四ツ、三百五十五ツ、三百五十六ツ、三百五十七ツ、三百五十八ツ、三百五十九ツ、三百六十ツ、三百六十一ツ、三百六十二ツ、三百六十三ツ、三百六十四ツ、三百六十五ツ、三百六十六ツ、三百六十七ツ、三百六十八ツ、三百六十九ツ、三百七十ツ、三百七十一ツ、三百七十二ツ、三百七十三ツ、三百七十四ツ、三百七十五ツ、三百七十六ツ、三百七十七ツ、三百七十八ツ、三百七十九ツ、三百八十ツ、三百八十一ツ、三百八十二ツ、三百八十三ツ、三百八十四ツ、三百八十五ツ、三百八十六ツ、三百八十七ツ、三百八十八ツ、三百八十九ツ、三百九十ツ、三百九十一ツ、三百九十二ツ、三百九十三ツ、三百九十四ツ、三百九十五ツ、三百九十六ツ、三百九十七ツ、三百九十八ツ、三百九十九ツ、四百ツ、四百一ツ、四百二ツ、四百三ツ、四百四ツ、四百五ツ、四百六ツ、四百七ツ、四百八ツ、四百九ツ、四百十ツ、四百十一ツ、四百十二ツ、四百十三ツ、四百十四ツ、四百十五ツ、四百十六ツ、四百十七ツ、四百十八ツ、四百十九ツ、四百二十ツ、四百二十一ツ、四百二十二ツ、四百二十三ツ、四百二十四ツ、四百二十五ツ、四百二十六ツ、四百二十七ツ、四百二十八ツ、四百二十九ツ、四百三十ツ、四百三十一ツ、四百三十二ツ、四百三十三ツ、四百三十四ツ、四百三十五ツ、四百三十六ツ、四百三十七ツ、四百三十八ツ、四百三十九ツ、四百四十ツ、四百四十一ツ、四百四十二ツ、四百四十三ツ、四百四十四ツ、四百四十五ツ、四百四十六ツ、四百四十七ツ、四百四十八ツ、四百四十九ツ、四百五十ツ、四百五十一ツ、四百五十二ツ、四百五十三ツ、四百五十四ツ、四百五十五ツ、四百五十六ツ、四百五十七ツ、四百五十八ツ、四百五十九ツ、四百六十ツ、四百六十一ツ、四百六十二ツ、四百六十三ツ、四百六十四ツ、四百六十五ツ、四百六十六ツ、四百六十七ツ、四百六十八ツ、四百六十九ツ、四百七十ツ、四百七十一ツ、四百七十二ツ、四百七十三ツ、四百七十四ツ、四百七十五ツ、四百七十六ツ、四百七十七ツ、四百七十八ツ、四百七十九ツ、四百八十ツ、四百八十一ツ、四百八十二ツ、四百八十三ツ、四百八十四ツ、四百八十五ツ、四百八十六ツ、四百八十七ツ、四百八十八ツ、四百八十九ツ、四百九十ツ、四百九十一ツ、四百九十二ツ、四百九十三ツ、四百九十四ツ、四百九十五ツ、四百九十六ツ、四百九十七ツ、四百九十八ツ、四百九十九ツ、五百ツ、五百一ツ、五百二ツ、五百三ツ、五百四ツ、五百五ツ、五百六ツ、五百七ツ、五百八ツ、五百九ツ、五百十ツ、五百十一ツ、五百十二ツ、五百十三ツ、五百十四ツ、五百十五ツ、五百十六ツ、五百十七ツ、五百十八ツ、五百十九ツ、五百二十ツ、五百二十一ツ、五百二十二ツ、五百二十三ツ、五百二十四ツ、五百二十五ツ、五百二十六ツ、五百二十七ツ、五百二十八ツ、五百二十九ツ、五百三十ツ、五百三十一ツ、五百三十二ツ、五百三十三ツ、五百三十四ツ、五百三十五ツ、五百三十六ツ、五百三十七ツ、五百三十八ツ、五百三十九ツ、五百四十ツ、五百四十一ツ、五百四十二ツ、五百四十三ツ、五百四十四ツ、五百四十五ツ、五百四十六ツ、五百四十七ツ、五百四十八ツ、五百四十九ツ、五百五十ツ、五百五十一ツ、五百五十二ツ、五百五十三ツ、五百五十四ツ、五百五十五ツ、五百五十六ツ、五百五十七ツ、五百五十八ツ、五百五十九ツ、五百六十ツ、五百六十一ツ、五百六十二ツ、五百六十三ツ、五百六十四ツ、五百六十五ツ、五百六十六ツ、五百六十七ツ、五百六十八ツ、五百六十九ツ、五百七十ツ、五百七十一ツ、五百七十二ツ、五百七十三ツ、五百七十四ツ、五百七十五ツ、五百七十六ツ、五百七十七ツ、五百七十八ツ、五百七十九ツ、五百八十ツ、五百八十一ツ、五百八十二ツ、五百八十三ツ、五百八十四ツ、五百八十五ツ、五百八十六ツ、五百八十七ツ、五百八十八ツ、五百八十九ツ、五百九十ツ、五百九十一ツ、五百九十二ツ、五百九十三ツ、五百九十四ツ、五百九十五ツ、五百九十六ツ、五百九十七ツ、五百九十八ツ、五百九十九ツ、六百ツ、六百一ツ、六百二ツ、六百三ツ、六百四ツ、六百五ツ、六百六ツ、六百七ツ、六百八ツ、六百九ツ、六百十ツ、六百十一ツ、六百十二ツ、六百十三ツ、六百十四ツ、六百十五ツ、六百十六ツ、六百十七ツ、六百十八ツ、六百十九ツ、六百二十ツ、六百二十一ツ、六百二十二ツ、六百二十三ツ、六百二十四ツ、六百二十五ツ、六百二十六ツ、六百二十七ツ、六百二十八ツ、六百二十九ツ、六百三十ツ、六百三十一ツ、六百三十二ツ、六百三十三ツ、六百三十四ツ、六百三十五ツ、六百三十六ツ、六百三十七ツ、六百三十八ツ、六百三十九ツ、六百四十ツ、六百四十一ツ、六百四十二ツ、六百四十三ツ、六百四十四ツ、六百四十五ツ、六百四十六ツ、六百四十七ツ、六百四十八ツ、六百四十九ツ、六百五十ツ、六百五十一ツ、六百五十二ツ、六百五十三ツ、六百五十四ツ、六百五十五ツ、六百五十六ツ、六百五十七ツ、六百五十八ツ、六百五十九ツ、六百六十ツ、六百六十一ツ、六百六十二ツ、六百六十三ツ、六百六十四ツ、六百六十五ツ、六百六十六ツ、六百六十七ツ、六百六十八ツ、六百六十九ツ、六百七十ツ、六百七十一ツ、六百七十二ツ、六百七十三ツ、六百七十四ツ、六百七十五ツ、六百七十六ツ、六百七十七ツ、六百七十八ツ、六百七十九ツ、六百八十ツ、六百八十一ツ、六百八十二ツ、六百八十三ツ、六百八十四ツ、六百八十五ツ、六百八十六ツ、六百八十七ツ、六百八十八ツ、六百八十九ツ、六百九十ツ、六百九十一ツ、六百九十二ツ、六百九十三ツ、六百九十四ツ、六百九十五ツ、六百九十六ツ、六百九十七ツ、六百九十八ツ、六百九十九ツ、七百ツ、七百一ツ、七百二ツ、七百三ツ、七百四ツ、七百五ツ、七百六ツ、七百七ツ、七百八ツ、七百九ツ、七百十ツ、七百十一ツ、七百十二ツ、七百十三ツ、七百十四ツ、七百十五ツ、七百十六ツ、七百十七ツ、七百十八ツ、七百十九ツ、七百二十ツ、七百二十一ツ、七百二十二ツ、七百二十三ツ、七百二十四ツ、七百二十五ツ、七百二十六ツ、七百二十七ツ、七百二十八ツ、七百二十九ツ、七百三十ツ、七百三十一ツ、七百三十二ツ、七百三十三ツ、七百三十四ツ、七百三十五ツ、七百三十六ツ、七百三十七ツ、七百三十八ツ、七百三十九ツ、七百四十ツ、七百四十一ツ、七百四十二ツ、七百四十三ツ、七百四十四ツ、七百四十五ツ、七百四十六ツ、七百四十七ツ、七百四十八ツ、七百四十九ツ、七百五十ツ、七百五十一ツ、七百五十二ツ、七百五十三ツ、七百五十四ツ、七百五十五ツ、七百五十六ツ、七百五十七ツ、七百五十八ツ、七百五十九ツ、七百六十ツ、七百六十一ツ、七百六十二ツ、七百六十三ツ、七百六十四ツ、七百六十五ツ、七百六十六ツ、七百六十七ツ、七百六十八ツ、七百六十九ツ、七百七十ツ、七百七十一ツ、七百七十二ツ、七百七十三ツ、七百七十四ツ、七百七十五ツ、七百七十六ツ、七百七十七ツ、七百七十八ツ、七百七十九ツ、七百八十ツ、七百八十一ツ、七百八十二ツ、七百八十三ツ、七百八十四ツ、七百八十五ツ、七百八十六ツ、七百八十七ツ、七百八十八ツ、七百八十九ツ、七百九十ツ、七百九十一ツ、七百九十二ツ、七百九十三ツ、七百九十四ツ、七百九十五ツ、七百九十六ツ、七百九十七ツ、七百九十八ツ、七百九十九ツ、八百ツ、八百一ツ、八百二ツ、八百三ツ、八百四ツ、八百五ツ、八百六ツ、八百七ツ、八百八ツ、八百九ツ、八百十ツ、八百十一ツ、八百十二ツ、八百十三ツ、八百十四ツ、八百十五ツ、八百十六ツ、八百十七ツ、八百十八ツ、八百十九ツ、八百二十ツ、八百二十一ツ、八百二十二ツ、八百二十三ツ、八百二十四ツ、八百二十五ツ、八百二十六ツ、八百二十七ツ、八百二十八ツ、八百二十九ツ、八百三十ツ、八百三十一ツ、八百三十二ツ、八百三十三ツ、八百三十四ツ、八百三十五ツ、八百三十六ツ、八百三十七ツ、八百三十八ツ、八百三十九ツ、八百四十ツ、八百四十一ツ、八百四十二ツ、八百四十三ツ、八百四十四ツ、八百四十五ツ、八百四十六ツ、八百四十七ツ、八百四十八ツ、八百四十九ツ、八百五十ツ、八百五十一ツ、八百五十二ツ、八百五十三ツ、八百五十四ツ、八百五十五ツ、八百五十六ツ、八百五十七ツ、八百五十八ツ、八百五十九ツ、八百六十ツ、八百六十一ツ、八百六十二ツ、八百六十三ツ、八百六十四ツ、八百六十五ツ、八百六十六ツ、八百六十七ツ、八百六十八ツ、八百六十九ツ、八百七十ツ、八百七十一ツ、八百七十二ツ、八百七十三ツ、八百七十四ツ、八百七十五ツ、八百七十六ツ、八百七十七ツ、八百七十八ツ、八百七十九ツ、八百八十ツ、八百八十一ツ、八百八十二ツ、八百八十三ツ、八百八十四ツ、八百八十五ツ、八百八十六ツ、八百八十七ツ、八百八十八ツ、八百八十九ツ、八百九十ツ、八百九十一ツ、八百九十二ツ、八百九十三ツ、八百九十四ツ、八百九十五ツ、八百九十六ツ、八百九十七ツ、八百九十八ツ、八百九十九ツ、九百ツ、九百一ツ、九百二ツ、九百三ツ、九百四ツ、九百五ツ、九百六ツ、九百七ツ、九百八ツ、九百九ツ、九百十ツ、九百十一ツ、九百十二ツ、九百十三ツ、九百十四ツ、九百十五ツ、九百十六ツ、九百十七ツ、九百十八ツ、九百十九ツ、九百二十ツ、九百二十一ツ、九百二十二ツ、九百二十三ツ、九百二十四ツ、九百二十五ツ、九百二十六ツ、九百二十七ツ、九百二十八ツ、九百二十九ツ、九百三十ツ、九百三十一ツ、九百三十二ツ、九百三十三ツ、九百三十四ツ、九百三十五ツ、九百三十六ツ、九百三十七ツ、九百三十八ツ、九百三十九ツ、九百四十ツ、九百四十一ツ、九百四十二ツ、九百四十三ツ、九百四十四ツ、九百四十五ツ、九百四十六ツ、九百四十七ツ、九百四十八ツ、九百四十九ツ、九百五十ツ、九百五十一ツ、九百五十二ツ、九百五十三ツ、九百五十四ツ、九百五十五ツ、九百五十六ツ、九百五十七ツ、九百五十八ツ、九百五十九ツ、九百六十ツ、九百六十一ツ、九百六十二ツ、九百六十三ツ、九百六十四ツ、九百六十五ツ、九百六十六ツ、九百六十七ツ、九百六十八ツ、九百六十九ツ、九百七十ツ、九百七十一ツ、九百七十二ツ、九百七十三ツ、九百七十四ツ、九百七十五ツ、九百七十六ツ、九百七十七ツ、九百七十八ツ、九百七十九ツ、九百八十ツ、九百八十一ツ、九百八十二ツ、九百八十三ツ、九百八十四ツ、九百八十五ツ、九百八十六ツ、九百八十七ツ、九百八十八ツ、九百八十九ツ、九百九十ツ、九百九十一ツ、九百九十二ツ、九百九十三ツ、九百九十四ツ、九百九十五ツ、九百九十六ツ、九百九十七ツ、九百九十八ツ、九百九十九ツ、

第十四　屋ゝ算さんといふもの

○巻四方にあるゝで一方に八づゝきは
かゝ一方の八つとばかりをそこ方とば
ゝ八ゝ八ゝ八ゝ八ゝ八ゝ八ゝ八ゝ八ゝ
と思ふ時ぶゝ一つとぶゝの多用て
十六八ぶゝ十二ぶゝ八ぶゝ十二ぶゝ
つゝしぶゝまるゝといふぶゝ十二ぶゝ百九十六

第十五　人数いろは八人

○八人安ければ
ちとせ中いろは
里とまて五乃
里ちかしど

一五里　一五里　一五里　一五里　一五里　一五里　一五里　一五里

第十六　六里と四人とする三疋安者

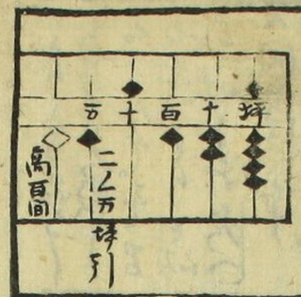
○十二五里
まあ中
いろは八人
かんだこん

一五里　一五里　一五里　一五里　一五里　一五里　一五里　一五里

○六里乃と四人とする三疋にのる
合とる時ハ四人ハ
一人ずつ四里まてこ里まてこ
てハ四人ずつ
る二里まて
てかるこ一人ハ
一人ずつ一人ハ四里まのうてかるこ
一人ずつ一人ハ四里まあるこ
ちのうてかるこ一人ハ
又ちとめちのうこ里乃

ちとうこ時ハ四人
めしとるべ
ばやうこと
十二ハ
▲八五安ハ
ちとめ
ちとめて
ちとめ
ちとめ
ちとめ

と一桁割ハ三すゝ〳〵
ぬぱニすると九九九と
ニニの四倍ハ八
約て定メよ七百九
九行ると四倍九九
ると一倍ハ九て二百
四ゝ九ゝ〳〵ぬぱ
四ゝと一倍割ハと
ゝ〳〵ぬぱ三ゝと九九
ハ九〳〵ぬぱ
ゝ〳〵ぬぱ
ゝ〳〵ぬぱ

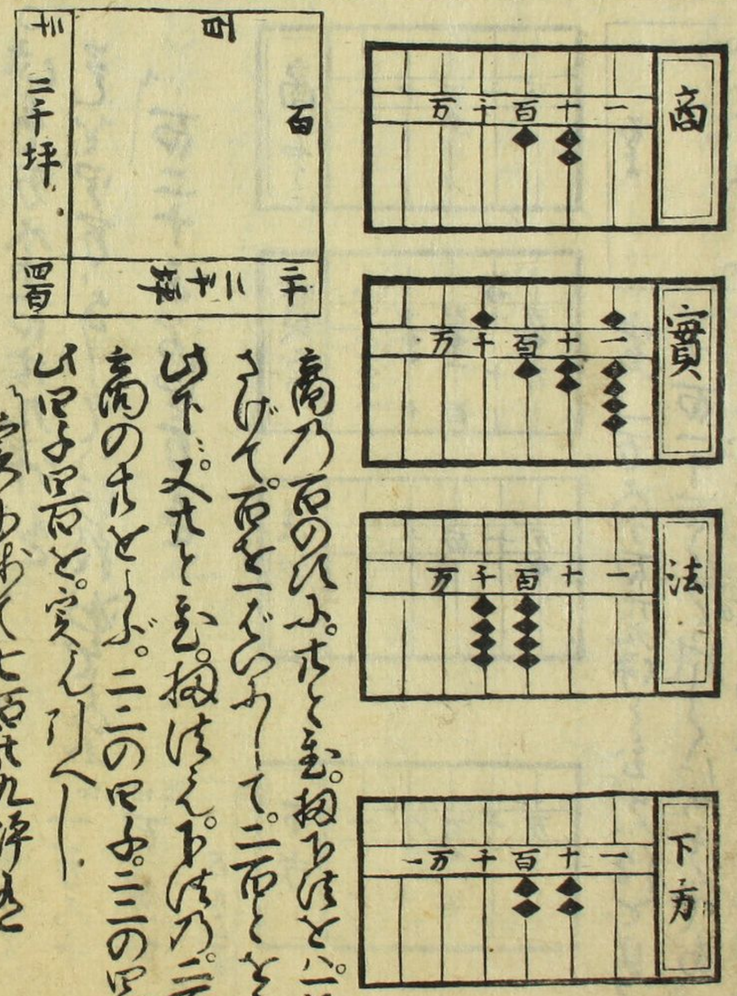


○百万強の八人数と一万二人
づゝ〳〵ぬぱ行ぐくて
ハ長二百六一里十七町ハ
一万八
一町ハ
一里ハ
ハ百万人
と二人ハくゝもぱ
ぬぱ
ぬぱ
ぬ

商 實 法 廉

神数八号

実小一万五千百七九坪と乗。扨坪乃元の下。廉を一と
なす。二十一と二位
高と乗し。実ふ
してくる時。万の下
あまりて一位と見
ゆる。商より一と乗
そ百をもさて廉

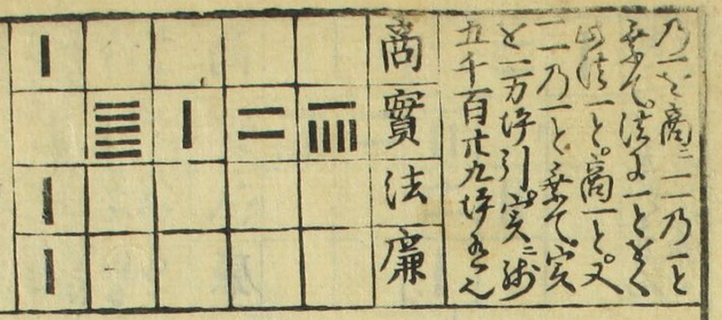


百ととぶ時。一万坪とぶ。実てて除実。残て
八千百七坪なり

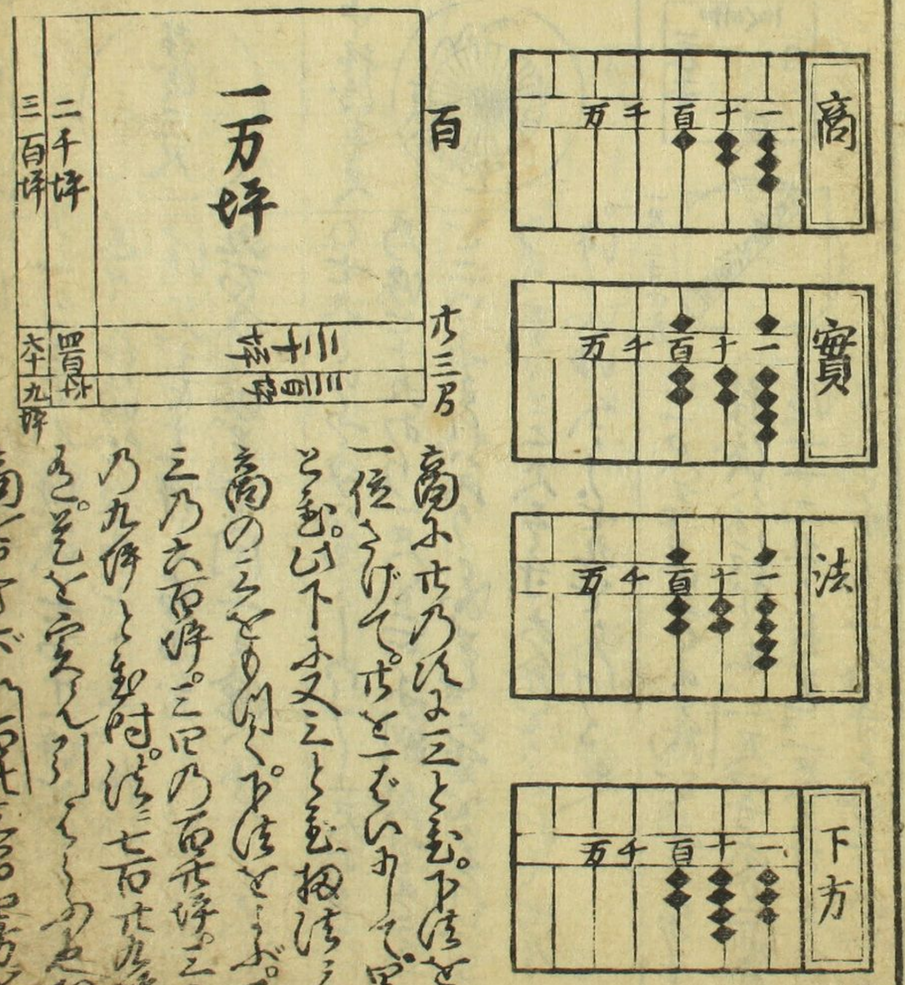
商乃百の位ふ。百と乗。扨下法をバ一位
さげて。百を一ぐらいかりて。二百とする
山下。又九と乗。扨法をとぶ。乃二百
商の千をとぶ。二二の四。二二の四百
山四百と。実ひ引く。
実ひかれて七百七九坪なり

商 實 法 廉

乃一と商。二乃一と
乗て。法より一とする
山法一と。商一と。又
二乃一と乗て。実
と二万坪引。実ひ残
五千百七九坪なり



扨廉をもんともとも
乗て。廉を商と
乗て。法より加。法八
二とあり。二乃二
廉八二乃二なり



商ふ。百乃位より三と乗。下法をバ
一位さげて。百を一ぐらいかりて。軍
と乗。山下ふ又三と乗。扨法をと
商の三をもとぶ。下法をとぶ。二
三乃六百坪。二四乃百七坪。三三
乃九坪と乗。時。法三。七百七九坪
ふ。そと実ひ引くこの時扨
商と九乗バ。百七二百四坪

二乃商の位と為す
商小二にして立ル先
二十万を掛ル小なる
を廉に為て法
小加へて二と
先と合て立ル商
より為て二二の口
少坪一二の口
坪一一二で始る
七百二十九坪なり

商					
實					
法					
廉					

掛二乃商と乃んとを為て少廉と

第二十 開平矩法乃事

○一寸四方乃坪ハ七百十一坪と開平矩法
を為て拵度三尺と云へハ拵度三尺と云ハ
法二先七百十一坪と。右ハ矩法七九と別ハ
九百坪なり。先と開平矩法と知

拵度三尺

中拵度三尺

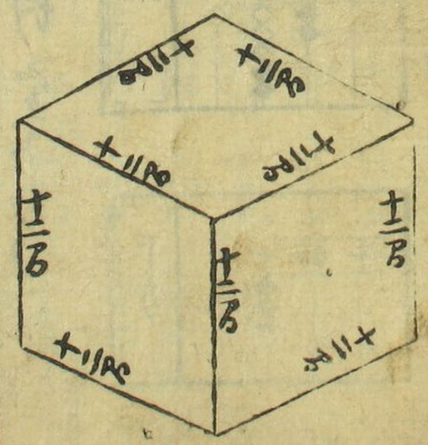
○七九といふハ矩法七十九あり。一尺を二つハ別ハ五寸を又一分
乃坪。七十九あり。一尺を二つハ別ハ五寸を又一分
を二つハ別ハ五寸を又一分を取れハ
ろくに先ハ三尺五寸を六分を取れハ七十九
坪なり。七九を取ける也

一尺三寸四方

○一尺三寸四方を矩法を為て
拵度ハ何程と云へハ一尺四方を
法二一二五と為ル三尺三寸を取れハ
さて一尺四方六分二リ也と知

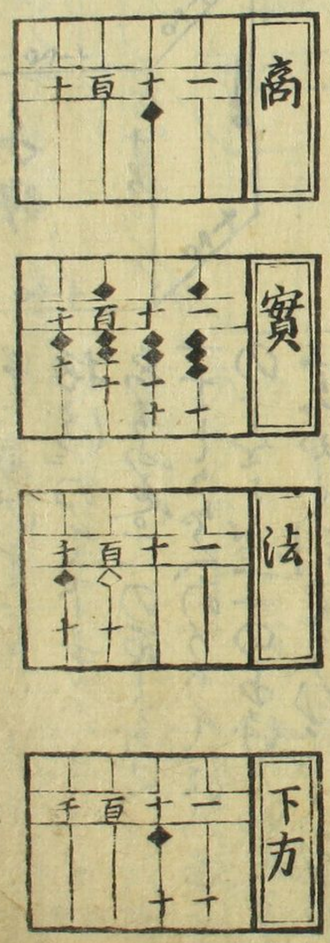
第廿一 開立法乃事

○坪数七百七十八坪を
先を立て。
日方を為て。何程ニ成
十二乃四方六面也



二の商小を為て法
より立て法二口と
ろくを法一坪下りて
廉ハ二坪下りて
二乃商の位を
考へ合ろくして
ハ二乃を廉に
為て法ハ加へ
二口二と加へ今
立ル商ろくろく
為て二二乃商
坪引。二口の百廿
坪引。二口乃九坪
引拂て百廿二ろ
とろくなり

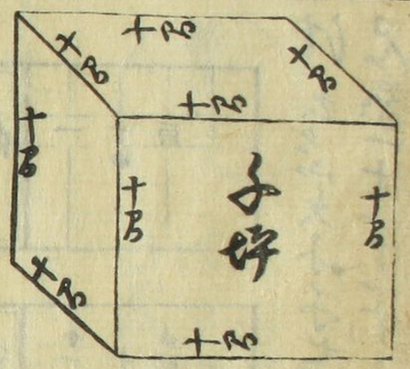
商					
實					
法					
廉					

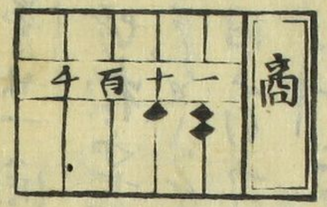


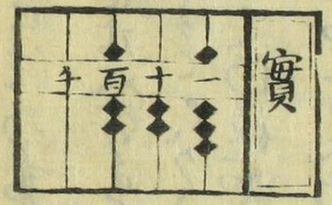
法ニ云ル実小千七百七八坪と為て。ぜん実ハ百ク位を
尺ニ。一十一十一十と法番乃どくろ。めぐりてん乃計

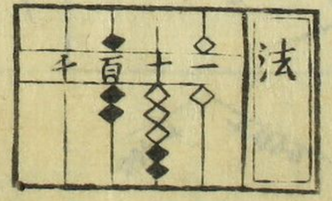
▲開立法之事

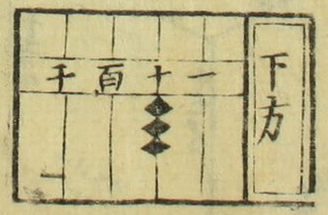
本書ハ立法ハ書ハ之を立法ハ書ハ之を
思ひ出し。御名と
そろぐん乃。暑術
と記ス也。
○実ハ平方六八
坪と云。坪の名
より二十百と位
を考へて。千ハ
一位ハ商ハ十ハ
商ハ十ハ百ハ
て。実の上の形ハ
ハて。再自図ニ
千坪。実ハ減て
実ハ残り七百廿
八坪ハ。相法し
立ハ商の十ハ百
ハ。ハて実法
ハ。ハて商乃十
ハ百を立て。商乃
十ハ百を立ハ。二百
ハ。ハて実を除
ハ。ハて次ハ二ハ



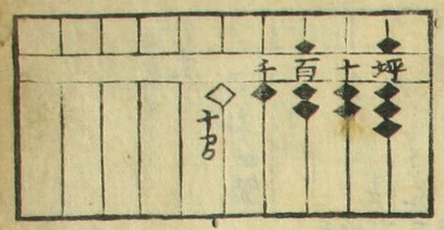




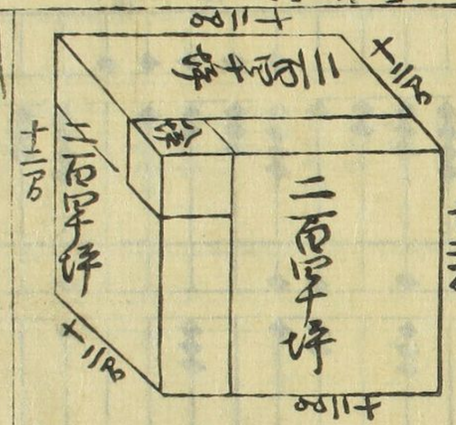




十と云ハ十乃位也。先商ハ十と云
又下方ハ。二十とあらて十と動く
先ハ商の十ハ。ちくとうひて。そこ也
相法ハ。かて下方乃十を商の十
ちくぶ也。二の百と云。又法ハ百を
二十とうぐくあらて法乃百ハ商
の十をとぶ。二の百ハ坪と云也。先を
実ハ減くハ引。そこひてそれぐ相て
七百廿八坪 実ハあり



とうぐんぐ。法を
減ぶ。て。新く
法。十二万と云。二
相乃。ハ。ハて
今の二万と自図
して。加ハ又ハ十
二万ぐらハ。法ハ
ぶ又それハ商
十万と云ハ。ハ
ハ。ハ。ハ
除ハ。但法ハ商
又ハ立て動ス也



乃位合七百廿八坪

商ハ八坪。先を角ハ
二と云。相法ハ二ハ。商
又先ハ。商乃二を二度

商ハ千乃位ハ二百。ハて下方ハ十と
ハ。ハ。ハ。

本書之圖八書面之鍋りあく
さのしるあを
ちりえをくちり
下の曷二分ケ
ろ曷く但乃
位をうんうく典
再自之号とて
用之二用九九ハ
色え位を下ゑ
二一
三三
八
七七
四四
六十四
五五
六六
七七
八八
九九
百二十五
二百十六
三百四十三
五百十二
七百二十九
三三
二二
一一
一一一
三三九
二二四
四四十六
五五十五
六六十六
七七四十九
八八六十四
九九八十一
三九
二四八
四六
四八
六八
七九
九九

鐘音百八

人間福禄

深抽窓志

俄企社参

社數三七

雨中圍碁

色赤似丹

此同付字
第一号の
行書乃枝
みくかくも
一字に見を
付らせて
花にあらず
葉にあらず
とくして
又後れ咲
くく行書
乃枝の花に
あらずして
葉とそなた
して前後
の号を考
合てそなた
らふべき
枝葉に号
ふ心えて
書付べき
其号字を
記あり

後の号小号慢あるべし下ゝ号を作ゝ書付とも
ふつゝく人集り節とゝ八花よゝ文字八第一号のいつも乃枝ゆゝ
も号あり一番目ふゝとゝゝる也市とゝ云字と枝の一と思べし乃ゝ
三字八師也其ゝ乃枝の花れ号書いゝく通和仏丹とゝゝ八花のゝ
文字第一号ゝ号乃いづもの枝乃花ゝ也又ゝ枝の花ゝ方枝
丹ゝ云字と枝の二と思へし・彼ル三字八師也又ゝ枝の花ゝ方枝
乃号書いゝく俄金社参とゝ八花ゝ文字八第一号ゝ号ゝいづもの枝
の花ゝ也ゝ号ゝ也ゝ三番目ふゝとゝゝる也参ゝ字と枝乃ことゝ
也し・彼ゝ三字八師也ゝゝ枝乃号書いゝく深抽愚ゝゝ
花ふゝ文字八第一号乃いづもの枝ゝ花ゝゝ也ゝ号ゝ
ゝゝゝる也志ゝ字と枝ゝ師也・彼ゝ
とゝゝ二枝の号書いゝく・雨中囲碁とゝ八花ゝゝ
の号ゝいつもゝ乃枝ゝ花ゝ也ゝ号ゝ
字と枝の・ゝ・彼ゝ三字八師也右ゝ方乃とゝゝ二枝の
号書いゝく人間福禄とゝ八花ゝゝ文字第一号ゝ号のいづもの

校し花ゆくるを茅んと高同ふ[illegible]
ゆくる三字の佛也又た乃ち[illegible]の校し
花ふを文字の花くるのいづを乃校し花ゆくを
すること云事しその字くらう更て乃校し
の花書いらく鐘音百八とる八花ふを文字の花くるの
いづをの校し花ゆくを[illegible]ゆくを心葉ふを
更て[illegible]三字の佛也[illegible]今人を
をくの花ゆく更を[illegible]の花
花ゆくを云附母と云[illegible]
深抽[illegible]志とを[illegible]ふを書めと[illegible]
[illegible]ふゆくる文字と[illegible]
うんぐくをくをの也

▲開方算術

開方法を二字云たくぐを書しおく千七百六八坪を開方
隅高實法廉隅とて[illegible]

高						
實			三		二	
法						
廉					三	一
隅						一
						一
						一

高						
實			三		二	一
法			四		二	二
廉			二		三	三
隅			一			

相呼乃ちの隅ふ一と[illegible]二十百と云て千坪乃
ち一作也[illegible]ふ廉ふ一と云[illegible]也[illegible]
隅ふ乗て廉ふ[illegible]百坪と法ふ[illegible]
實ふ[illegible]ふ[illegible]
ふ隅一と高ふ乗[illegible]
と高ふ乗て二百坪と[illegible]
乗て十百と廉ふ加[illegible]
廉ハ二坪ちル隅ハ二坪ちル
二百と隅ふ乗て隅ハ二坪ちて
二十二百と今云ル二百ふ乗て二三の六十坪
法ふ加又二三乃四坪法ふ加法二百六十四坪
ふ[illegible]と今云ル二百ふ乗て二三の六百坪
二六乃百六坪[illegible]二百坪の八坪[illegible]高十二百坪

高ふ二百と云
廉ふ加廉ふ加

商	實	法	上廉	下廉	隅
	一				一
	三				
	二				

商	實	法	上廉	下廉	隅
	一				一
	三				
	二				

▲三乘方ノ術トスルニハ開方ノ法ニ又同数ヲ乘ジ
テ除クノ法也 たとへば今二方今七百五十坪
ノ方ヲ作ントスルニ同方ノ面ノ数ヲ問ハ答ニ十二ノ方ト云也
拙ト数十二ヲ乘テ云也 先ヲ以八百坪ノ
方ヲ除テ商ヲ立テ上廉下廉隅ト云ク
拙実ニ二方今七百三十六坪ト云ヒ坪ヲ以下ノ
隅ニ一ト云ヒ一十百十ト定ヲ以テ方ヲ作テ
隅一位ヲ加テ云ヒ拙商ニ十ヲ乘ト云ヒ云ヒ隅ヲ
乘テ十ヲ乘ト下廉ヲ云ヒ云ヒヲ又商ニ乘
ク二百歩ヲ加ヘヲ以テ上廉ヲ云ヒ云ヒ又商ニ乘テ千坪
法ヲ以テ 拙之 おて二方今七百三十六坪ノ方ヲ
拙ヲ以テ商ヲ乘テ十ヲ乘ト云ヒ云ヒ 隅ト商ヲ乘テ十ヲ乘ト
下廉ヲ加ヘ十ヲ乘ト又二百歩ヲ加ヘ

商	實	法	上廉	下廉	隅
	一				一
	三				
	二				

商	實	法	上廉	下廉	隅
	一				一
	三				
	二				

二百歩ヲ加ヘテ上廉ヲ加ヘ二百歩ヲ加ヘ又二百
歩ヲ商ニ乘テ二百坪ヲ加ヘ又別ニ隅ヲ加ヘ
ヲ以テ又別ニ隅ヲ商ニ乘テ十ヲ乘ト下
廉ニ加ヘ十ヲ乘ト又二百歩ヲ加ヘ十ヲ乘ト下
二百歩ヲ隅ヲ商ニ乘テ十ヲ乘ト上廉ヲ加ヘ六百歩ヲ加ヘ又別
ニ隅ヲ商ニ乘テ十ヲ乘ト下廉ニ加ヘテ
下廉ハ二方ノ下ルト云ヒ隅ハ二方ノ下ルト云ヒ
次ニ商ヲ二百ト云ヒ云ヒ隅ヲ乘テ千坪ヲ
上ノ下廉ヲ加ヘ四千二百ト云ヒ云ヒ隅ヲ乘テ隅乃
商二百ト云ヒ云ヒ隅ヲ乘テ上廉ヲ二百乃八十歩ヲ加ヘ
又二二乃四百歩ヲ加ヘ六百八十四歩ト云ヒ又
今ハ商二百ト乘テ法ヲ二六の千二百坪
加ヘ又二八分百六十坪加ヘ又二四乃八坪加ヘテ法
ヲ六百六十八坪ト云ヒ云ヒ今ハ商二百

[illegible]と二又乃二万坪賦又二之の六百坪賦又二之乃百廿坪賦又二之
十六坪賦拂也
右[illegible]四乗乃乗乃乗十乗十乗十乗[illegible]乗乗乗